

あみぐるみや小物をつつちやお!

とつてもかんたんにあみものができるよ!



TAKARA TOMY

取り扱い説明書 & あみぐるみなどのつくり方

この度は、タカラトミー「あむあむたまごポンポン」をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。ご使用前に、この取り扱い説明書(本書)をよくお読みください。また、読み終わった後は必ず保管しておいてください。



使える毛糸の種類は 並太毛糸

対象年齢 6才以上
保護者の方とお読みください
乾電池は使用しません。 NO BATTERIES REQUIRED.

©1976, 2016 SANRIO CO., LTD. TOKYO, JAPAN

※イラストと写真が実際の商品と多少異なる場合があります。※写真にありますがあみぐるみ用の綿とあみぐるみマスコット以外の毛糸とフェルトはセット内容に含まれておりませんのでご了承ください。

警告(けいこく)

保護者の方へ 必ずお読みください。

- 小部品があります。誤飲・窒息の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。
- 毛糸針は、機能上尖っていますので危険です。
- 毛糸は火に近づけないでください。

注意(ちゅうい)

- 毛糸を首にかけてふざけたり、乱暴に遊ばないでください。窒息などの危険があります。
- 毛糸による事故の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。
- 毛糸を指などに巻きつけないでください。血が通わなくなり、危険です。
- 毛糸を編んでいる途中、シリンダー内のペラやフックなどに指や髪の毛や衣服などはさまれないように注意してください。
- プラスチック袋を頭から被ったり、顔を覆ったりしないでください。窒息する恐れがあります。
- 思わぬ事故の恐れがありますので、使用後は3才未満のお子様の手の届かないところに保管してください。

<使用上のご注意> ○ご使用前に、取り扱い説明書(本書)をよくお読みください。また読み終わった後は必ず保管しておいてください。○性質上、毛が抜けやすいので誤って飲み込まないように注意してください。○はさみを使うときは十分注意してください。○プラスチック袋は梱包材ですので開封後はすぐに捨ててください。

目次

●編みはじめる前の準備.....P1	●平あみの編み終わり.....P5
●輪あみの編み方.....P2	●編みはじめのしまつの仕方.....P6
●編み終わったら.....P2	●ポンポンのつくり方.....P6
●輪あみの編み終わり.....P2	●マイメロディのあみぐるみマスコットのつくり方.....P7
●編みはじめのしまつの仕方.....P3	●リボンの小物のつくり方.....P11
●平あみの編み方.....P4	●パステルカラーのバッグのつくり方.....P13

セット内容

- 本体.....1コ
- テンション.....1コ
- ポンポン糸巻.....1コ
- 毛糸ガイド.....1コ
- 毛糸針.....1本
- 毛糸(ピンク、白).....各1コ
- 綿.....1コ
- フェルト(ピンク、茶、黄).....各1枚
- 取り扱い説明書(本書).....1冊

あむあむたまごポンポン Q&A

- Q.うまく編めない。**
A.1ページ目の「毛糸をセットしましょう」をよく読んでからはじめてください。
- Q.目が痛んでしまいます。**
A.毛糸をひっぱらないように、テンションにかけてから、一定の速度でハンドルをまわし、毛糸の状態を確認しながら編んでください。輪あみの場合は、ハンドルを逆まわしにしないでください。
- Q.毛糸がテンションや針の甲にからまってしまいシリンダーがまわらなくなりました。**
A.セット内容の毛糸針で編み目をゆるめてはじめてください。毛糸は十分ほぐし、からまらないように注意して編んでください。
- Q.毛糸玉を編む前にほぐさずに、そのまま編んでしまいハンドルをまわしたらカチカチと音がした。**
A.毛糸がテンションに引っかかり安全装置がはたらきカチカチと音がします。毛糸をほぐしましょう(→P1)を読んでから編みはじめてください。
- Q.毛糸の結び目がテンションに通らず引っかかってしまった。**
A.結び目は小さくし、余分な毛糸は切ってください。2ページの「毛糸がなくなりそうになったり、色をかえたいときは…」をよく読んでください。
- Q.付属の毛糸以外で編めますか?**
A.付属の毛糸に近い並太を使用してください。
- Q.あみぐるみ以外のものはできますか?**
A.できます。いろいろアレンジしてください。

シリンダーが止まりハンドルだけがまわっている状態

- こんなとき安全装置がはたらきカチカチと音がします。
- きりかえダイヤルを平あみ(H)に合わせ、ハンドルをまわし、止まってもまわし続けたとき。
 - 並太毛糸より太い毛糸などを使って、きつくなってハンドルをまわし続けたとき。

家庭用品品質表示法に基づく表示
毛糸:アクリル系100% 表示者:株式会社タカラトミー 0570-041031

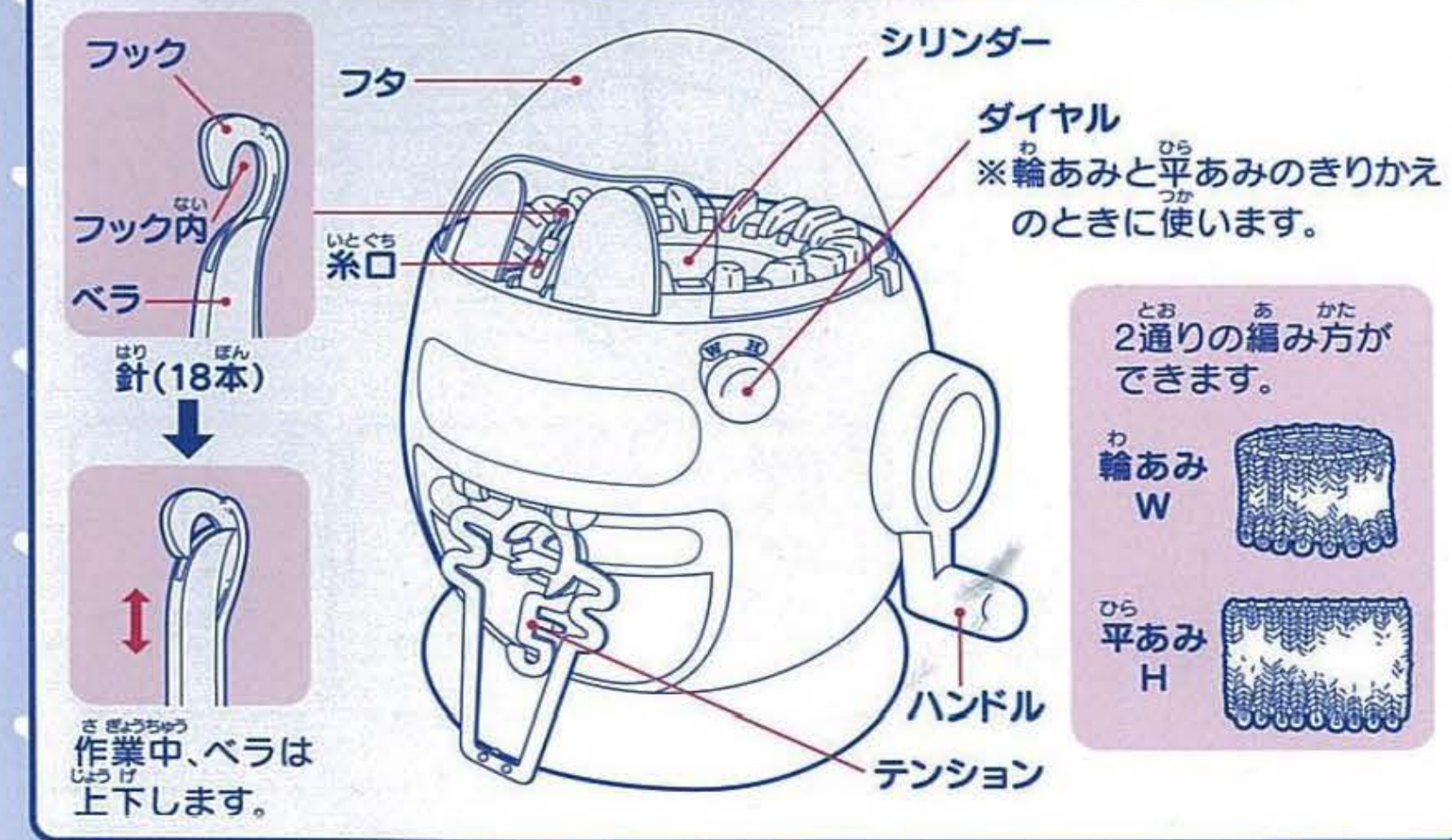
タカラトミーでは、「子どもたちに安全で楽しいおもちゃと夢を産第一」に考えており、そのために、常に製品に対し研究、改良を行っており、お買い上げ時期によって同一製品の中にも多少異なるものや、パッケージの写真やイラストなどと異なる場合がございますがご了承ください。製品につきましては、万全の注意を払って製造に当たっておりますが、万一お気付きの点がございましたら下記までご連絡ください。

タカラトミー お客様相談室 おかけ間違いのないようご注意ください
〒124-8511 東京都葛飾区立石 7-9-10
製品や修理については下記お客様相談室までお問合せください
電話受付時間 月曜日～金曜日(祝日・祭日を除く)10～17時
PHS、IP電話等からのお問合せは 03-5650-1031

0570-041031 タカラトミーサポート 検索
http://www.takaratomy.co.jp/support/index.html

株式会社 タカラトミー ©TOMY
●このサイトのタカラトミーの情報はインターネットで http://www.takaratomy.co.jp

あむあむたまごポンポンの各部の名前



フタのはずし方

フタを左(反時計まわり)にまわし、もちあげてはずします。(セットするときは逆の手順で行ってください。)

テンションのつけ方

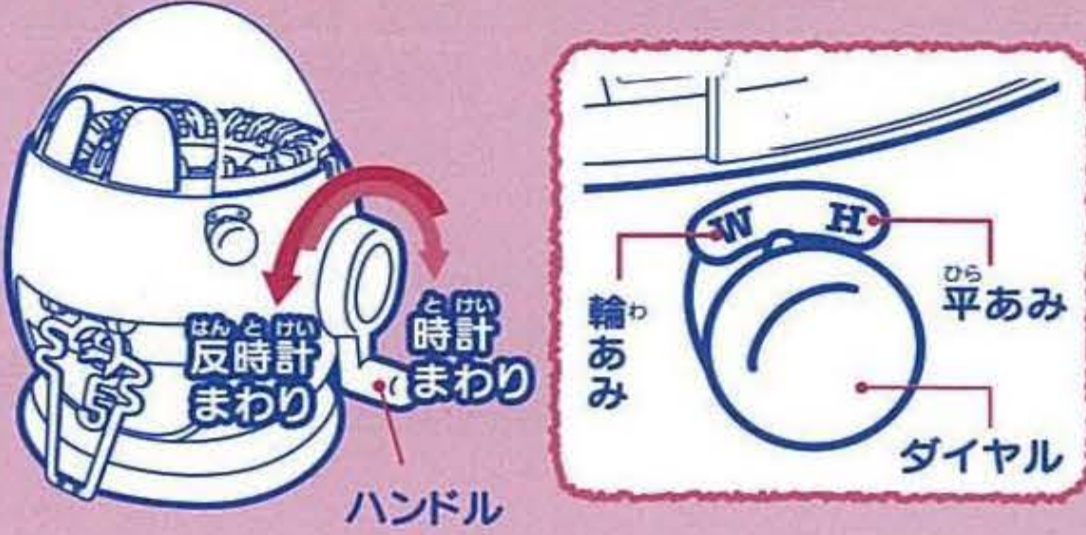
図のようにテンションの凸部を本体の穴に片方ずつさしこんでください。

編みはじめる前の準備

※セット内容の毛糸は「マイメロディのあみぐるみマスコット」をつくるためのものです。練習用はお家にある毛糸で行いましょう。

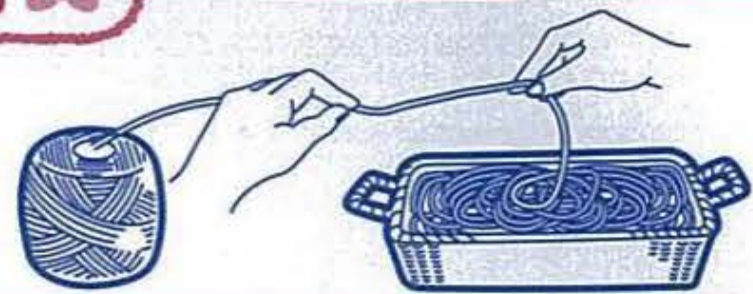
輪あみ

本体を平らなテーブルなどの上におき、ダイヤルを輪あみ(W)に合わせます。



毛糸をほぐしましょう

毛糸は毛糸玉の中心から、かごやあき箱などに、ほぐして入れましょう。



油性ペンで印をつけよう!

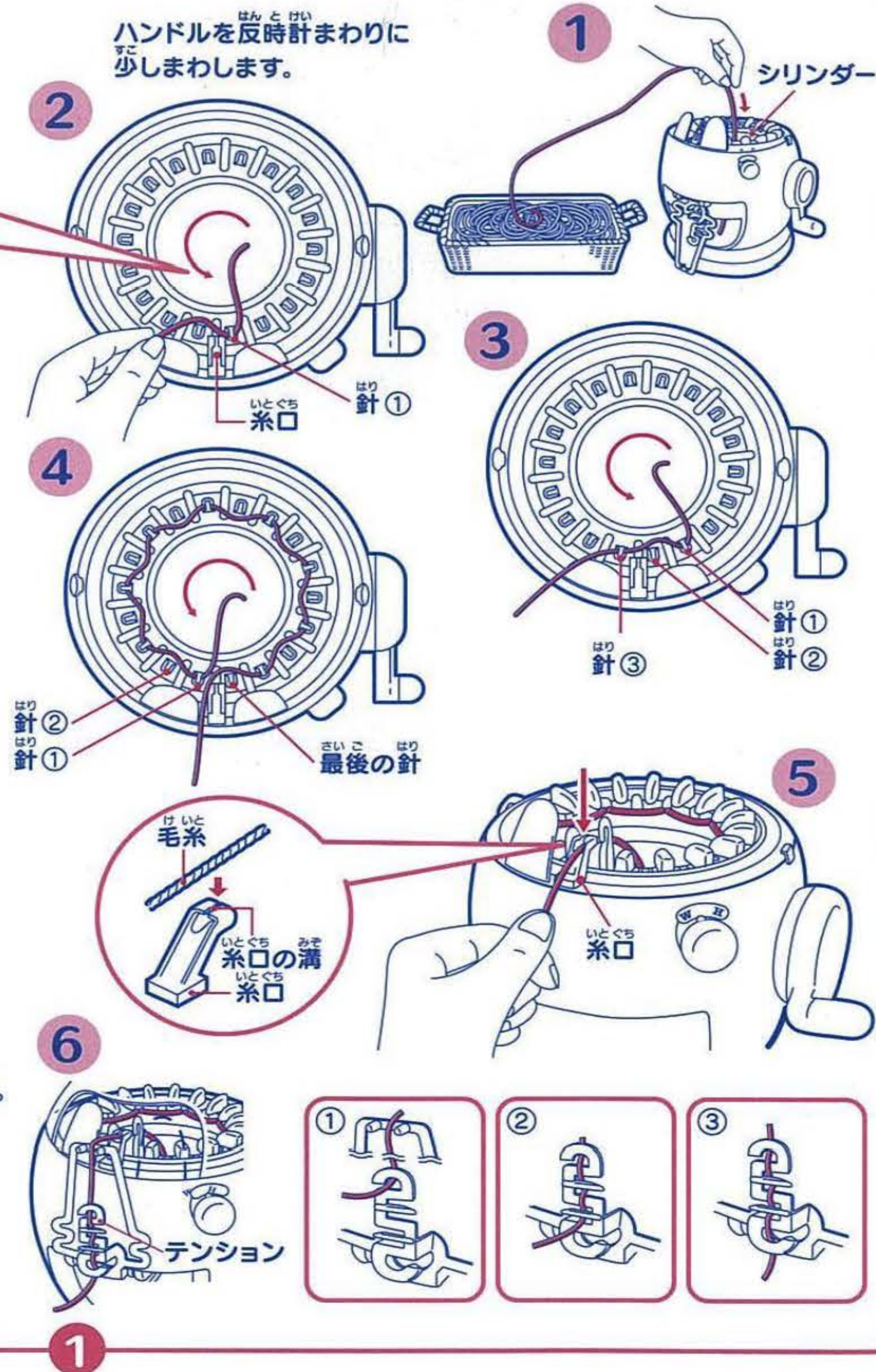
- ①ダイヤルを平あみ(H)に合わせます。
- ②ハンドルを左(反時計まわり)に止まるまでまわします。
- ③止まった位置に油性ペンで印をつけます。
- ④ダイヤルを輪あみ(W)に合わせます。



※遊んでいる途中で失敗したら、はさみで毛糸を切らずに本体からはずして編み終わりをほどこしましょう。

毛糸をセットしましょう

- 1 毛糸の先を図のように、約20cmくらい中へたらしめます。
- 2 針に毛糸をかけます。糸口の右側にある針①のフック内にかけます。
- 3 ハンドルを時計まわりに少しまわして、針②には通さず、針③のフック内に毛糸を通します。
- 4 このように針の前、後ろと交互に毛糸をかけてゆき、シリンダーを1回転させます。正しく毛糸がかかっている場合は、毛糸は最後の針の後ろを通っていきます。
- 5 糸口の溝に、上から毛糸を通します。
- 6 テンションを上へもちあげ、毛糸を通します。
- 7 フタをセットして、輪あみの準備完了です。



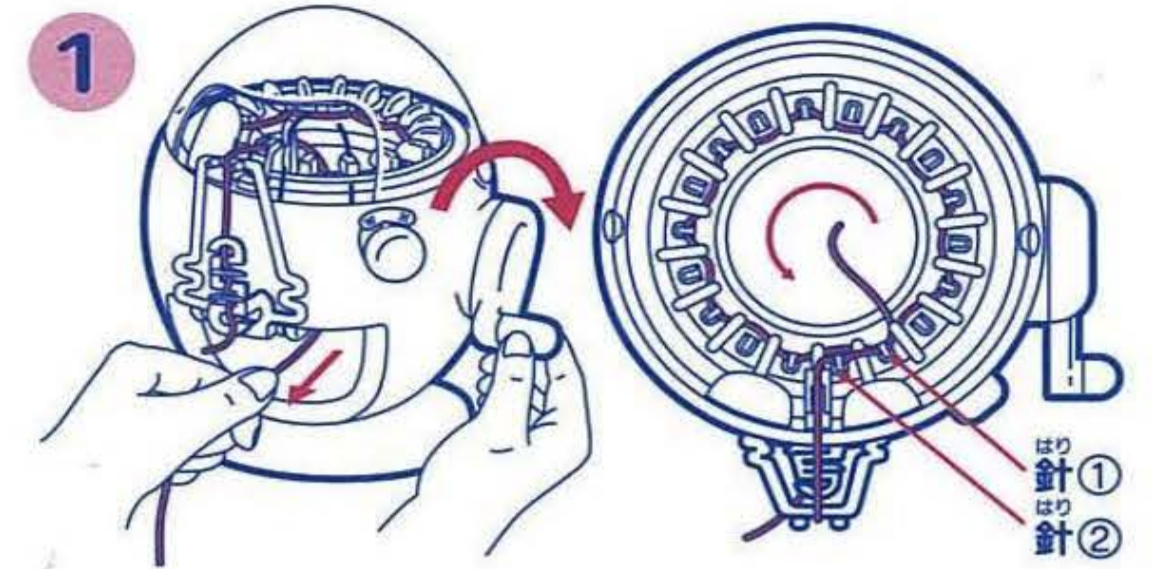
輪あみの編み方

輪あみの仕上げ

編み地の直径約6cm 長さは自由



- 1 ハンドルをまわして編んでいきます。輪あみのときはいつも、時計まわりにまわしてください。最初の2周は中にたらしめた毛糸を軽く引っ掛けて、ハンドルをまわしてください。



注意: ハンドルは乱暴にまわさないでください。

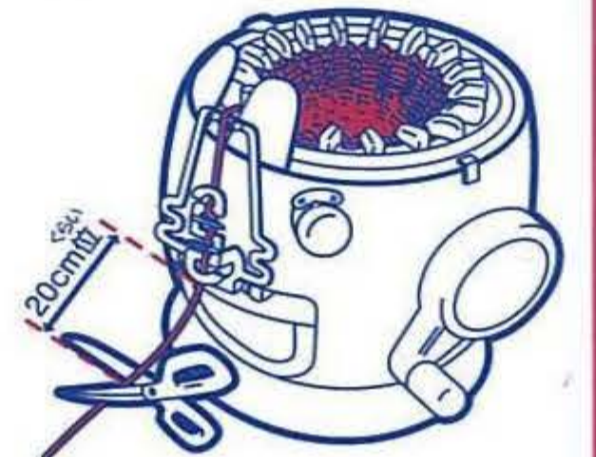
- ・ハンドルはゆっくり一定の速さでまわしてください。
- ・本体を左手でしっかりと押さえて、右手でハンドルをまわします。
- ・ハンドルを戻したり反時計まわりにまわさないでください。

- 2 編み地が長くなってきたら手前に出しましょう。編み地のねじれはときどきなおしましょう。



編んでいる途中も、なるべく下から軽く引っ張るようにしましょう。(ハンドルを数回まわしたら、編み地を下から引っ張る...など。)

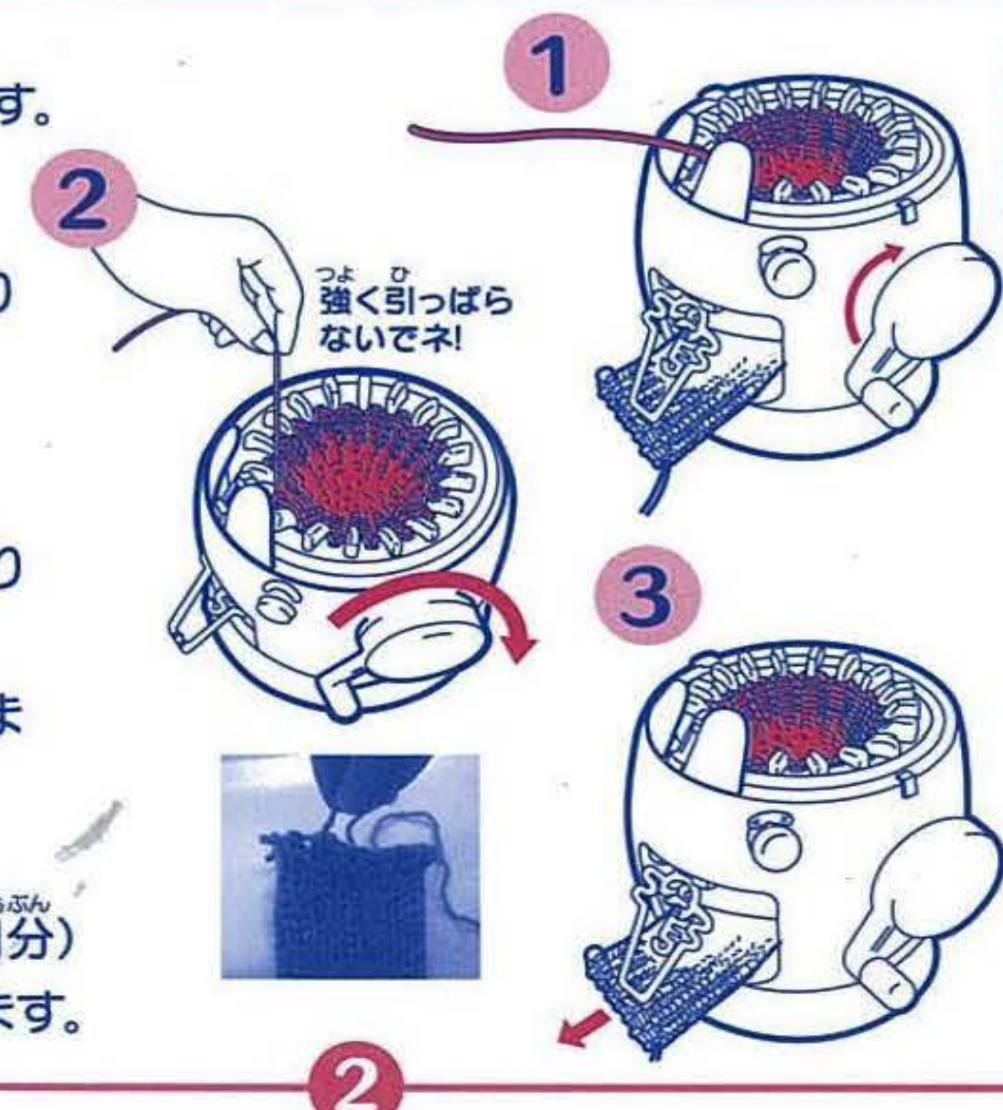
毛糸がなくなりそうになったり、色をかえたいときは...



図のように毛糸を切り、新しい毛糸を結びつけます。毛糸を結んだら、これまで通りハンドルをまわせば続きを編めます。

編み終わったら

- 1 テンション・糸口から毛糸ははずします。
- 2 毛糸をもって、ハンドルを時計まわりにまわし、1回転させます。
- 3 編みあがった作品は、本体の下の取り出し口からそっと取り出します。編み目がほどこけないように、注意しましょう。
- 4 編み終わりの毛糸をちょうど1段(1周分)ほどき、約20cmを残して毛糸を切ります。



もしも、毛糸が針からはずれないところがあつたら、セット内容の毛糸針ではずしましょう。



♡ 輪あみの編み終わり・編みはじめのしまつの仕方 ♡

★ 輪あみの編み終わりのしまつの仕方 ★

★注意：編み終わりの毛糸を強く引きすぎると、編み目がほどけますので、気をつけましょう。

♡ しまつをしやすくするために... ♡

編み終わりの毛糸を通しやすくするために、本体からはずした後に手で残り糸をゆっくり引っばって、1段(1周)ほどいってください。
※毛糸をはさみで切るのは、1段ほどいた後約20cmのところまで切ってください。

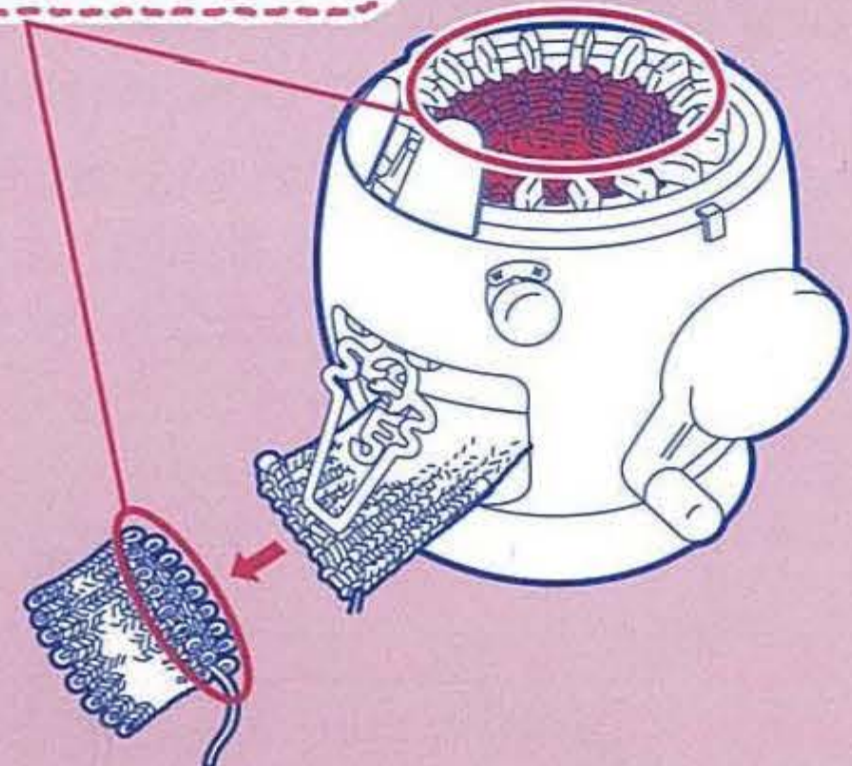


♡ 針に毛糸を通しやすくするために... ♡

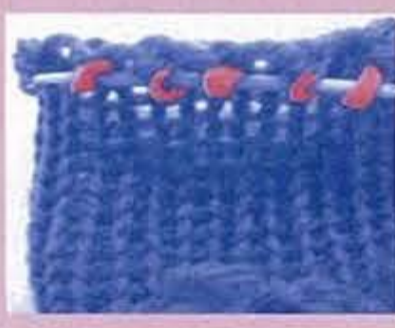
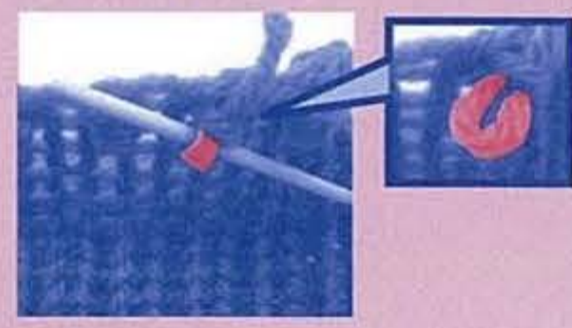
セット内の毛糸針に毛糸を通しやすくするために、毛糸の先にセロハンテープを1回巻いて針穴に通しましょう。
通したらセロハンテープははずしましょう。



♡ 編み終わり ♡



- ① 残り糸に毛糸針を通します。 ② 輪になっている編み目に毛糸針を通します。 ③ 1周すべて毛糸針を通します。



しぼる場合

しぼらない場合

- ① 1周した後、残った毛糸をゆっくりと引っばり穴をふさぎます。

- ② 残った毛糸のとなり2目の編み輪に毛糸針を入れます。



- ③ 針を通して引っばり、輪をつくりそこにまた針を通して結びます。



<残った毛糸をかくす場合>

- ④ てっぺんから毛糸針を内側に入れます。



- ⑤ 内側から通した毛糸を引っばります。
※余分な毛糸は、はさみで切るか、中に入れます。



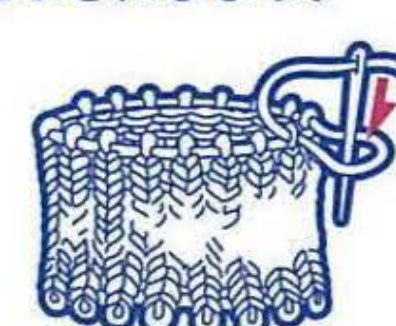
毛糸針を引っばる

3

- ① 1周した後、最後の編み輪にもう一度針を通します。



- ② 毛糸針を引っばり、輪をつくりそこにまた毛糸針を通して結びます。



★ 輪あみの編みはじめのしまつの仕方 ★

★注意：編み地に1周通す必要はありません。

しぼる場合

- ① 残った毛糸をゆっくりと引っばり、穴をふさぎます。



- ② 残った毛糸のとなり2目の編み輪に毛糸針を入れます。



- ③ 針を通して引っばり、輪をつくりそこにまた針を通して結びます。



<残った毛糸をかくす場合>

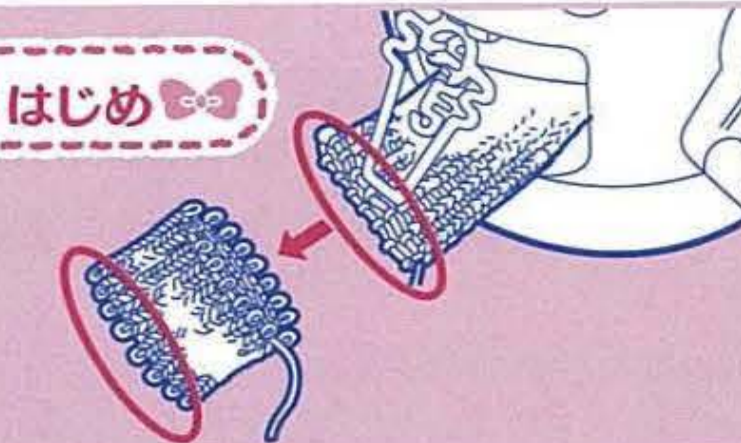
- ④ てっぺんから毛糸針を内側に入れます。



- ⑤ 内側から通した毛糸を引っばります。
※余分な毛糸は、はさみで切るか、中に入れます。



♡ 編みはじめ ♡



♡ しぼらない場合 ♡

- ① 最後の編み輪にもう一度、毛糸針を通します。



- ② 毛糸針を引っばり、輪をつくりそこにまた毛糸針を通して結びます。



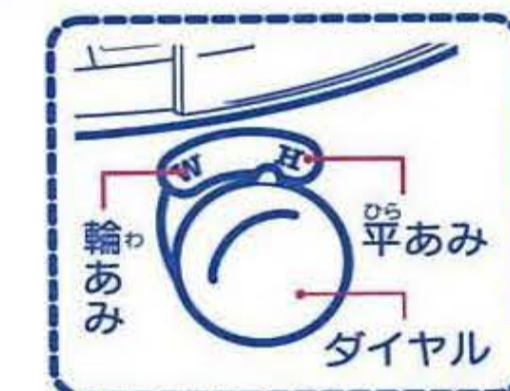
♡ 平あみの編み方 ♡

♡ 平あみの仕上がり ♡

編み地の直径約10cm 長さは自由



- ① フタをはずして、ダイヤルを平あみ(H)に合わせます。



- ② ハンドルを左(反時計まわり)に止まるまでまわします。

注意：無理をしてそれ以上まわすと、カチカチという音がしますが、これは安全装置がはたらいた音なので故障ではありません。

- ③ 編む前にあき箱などにほぐしておいた毛糸を、1ページく毛糸をセットしましょう>の手順を見てセットしましょう。
(今度は時計まわりにハンドルをゆっくりまわします。)

- ④ 平あみはハンドルが動かなくなったら、今度はハンドルを左(反時計まわり)にまわし、止まったらまた時計まわりにまわします。この作業をくり返します。
※1列目は内側にたらしした毛糸を軽く引っ張って編みましょう。

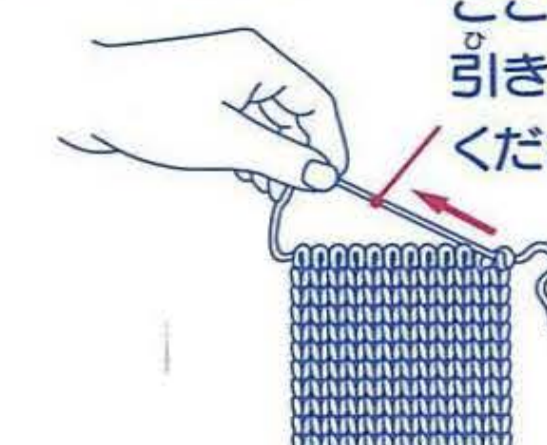
注意：ハンドルが止まるまでは反対方向にハンドルをまわさないでね。

- ⑤ ダイヤルを輪あみ(W)に合わせて、編み地をとりはずします。2ページ<編み終わったら>と同じ方法です。



交互に編んでいきます。

この毛糸を引き抜いてください。



4

平あみの編み終わり・編みはじめのしまつの仕方

★ 平あみの編み終わりのしまつの仕方 ★

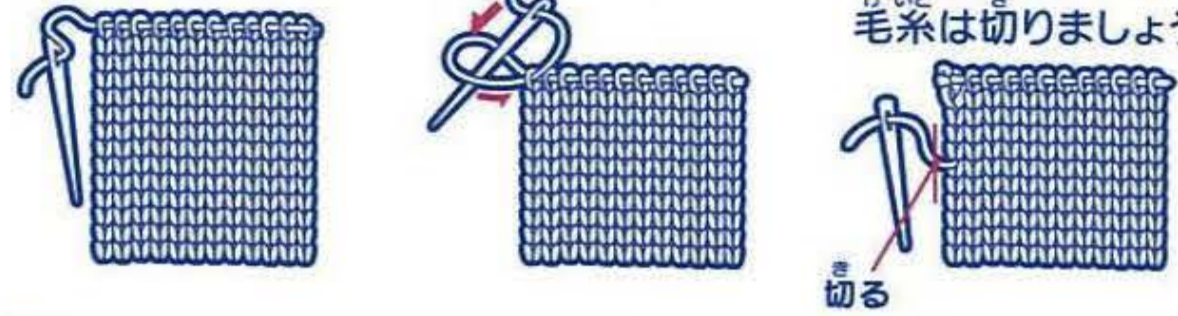
★注意: 編み終わりの毛糸を強く引きすぎると、編み目がほどけますので、気をつけましょう。

- ① 編み終わりの毛糸を毛糸針に通し、輪になっている針に通し、輪になっていない毛糸針を通して、すべての編み目に、毛糸針を通して、毛糸を強く引きすぎると、編み目がほどけますので、気をつけましょう。
- ② 図のように毛糸の輪をつくり、毛糸針を通して結びます。
- ③ 毛糸が残ったら、編み地の中へ少し縫いこみ、残った毛糸は切りましょう。



★ 平あみの編みはじめのしまつの仕方 ★

- ① 編みはじめの毛糸を毛糸針に通します。
- ② 毛糸の輪をつくり、毛糸針を通して結びます。
- ③ 毛糸が残ったら、編み地の中へ少し縫いこみ、残った毛糸は切りましょう。



平あみで編んだ編み地を二つ折りにして両サイドをとじる処理法

- ① 毛糸針に毛糸を通し、図のように目を広げながら閉じていきます。

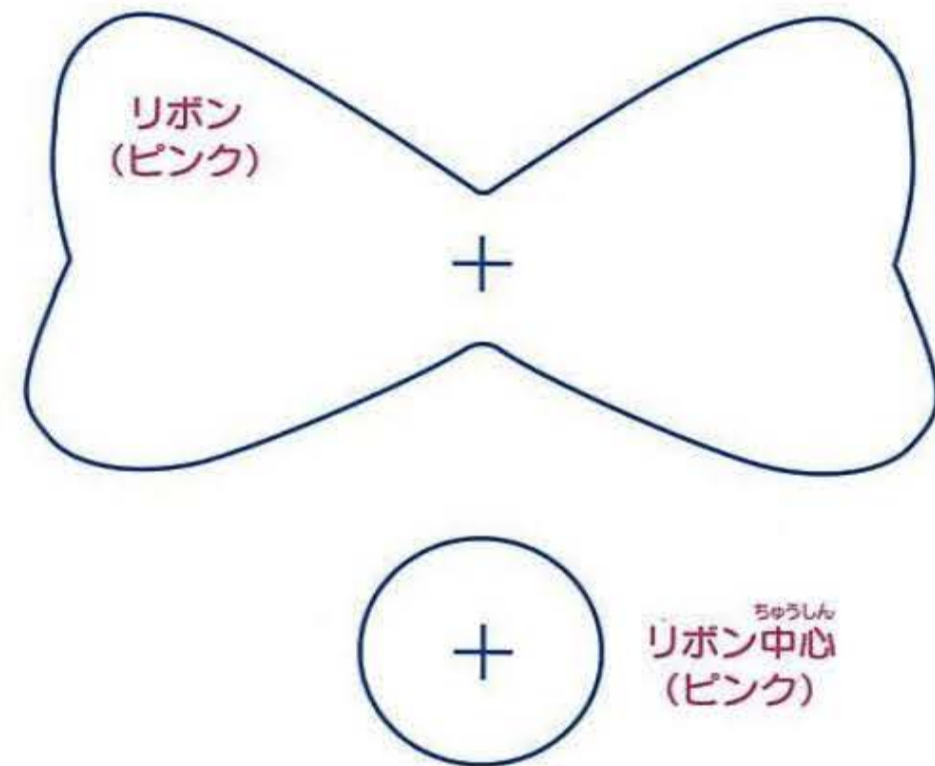


- ② 毛糸がつかないように引っ張り閉じます。



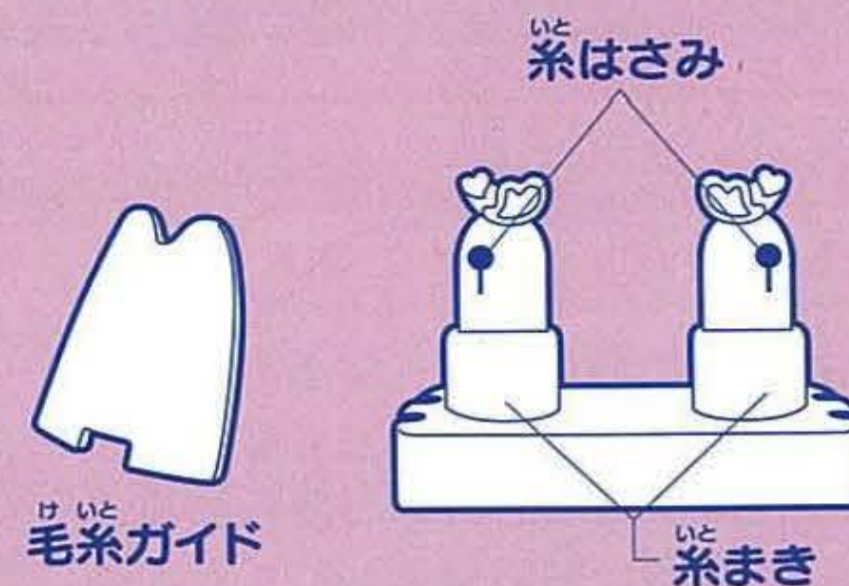
マイメロディのあみぐるみマスコット用フェルト型紙

セットに入っているフェルトを使い終わったら、この図面を別の紙に写しとったものを型紙として使用してください。はさみで切る際には十分注意してください。



ポンポンのつくり方

ポンポン糸巻



ポンポンの大きさがえらべます

糸まきをまわして、間隔を変えるとポンポンの大きさをえられます。

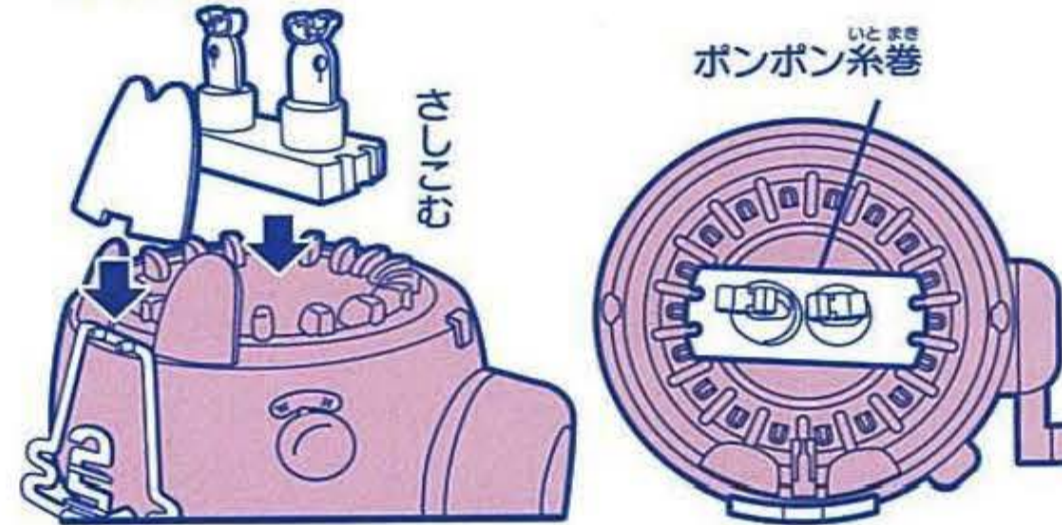
小 約5.5cmのポンポン

大 約6.5cmのポンポン



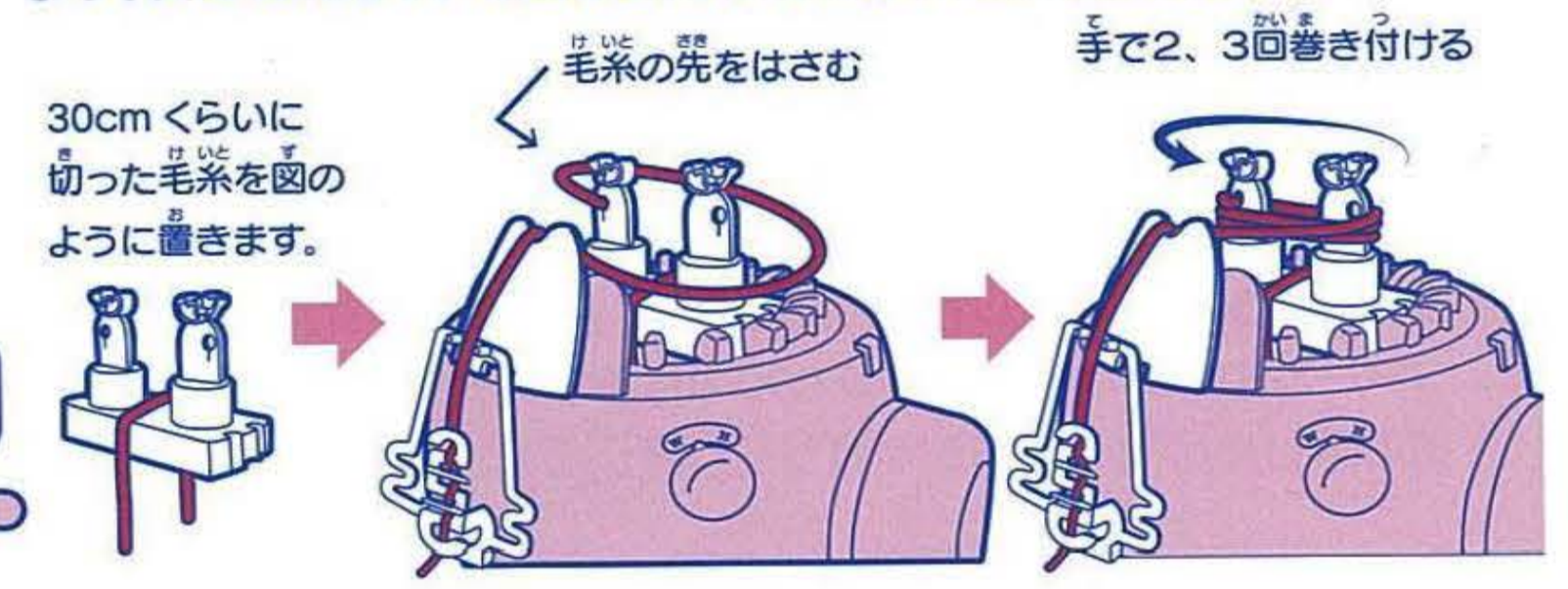
1 ポンポン糸巻をセットします

本体のフタをはずし、ダイヤルを輪あみにします。次にポンポン糸巻をシリンダーのツメの間にさしこみ、毛糸ガイドをとりつけます。



2 毛糸をセットします

30cmくらいに切った毛糸を図のように置きます。毛糸の先を糸はさみの穴に入れ、下にさげて毛糸を固定したあと、手で2~3回巻き付けます。次に毛糸ガイドを通して、テンションに毛糸を通します。



※ポンポン糸巻の上下を間違えないようにしてください。

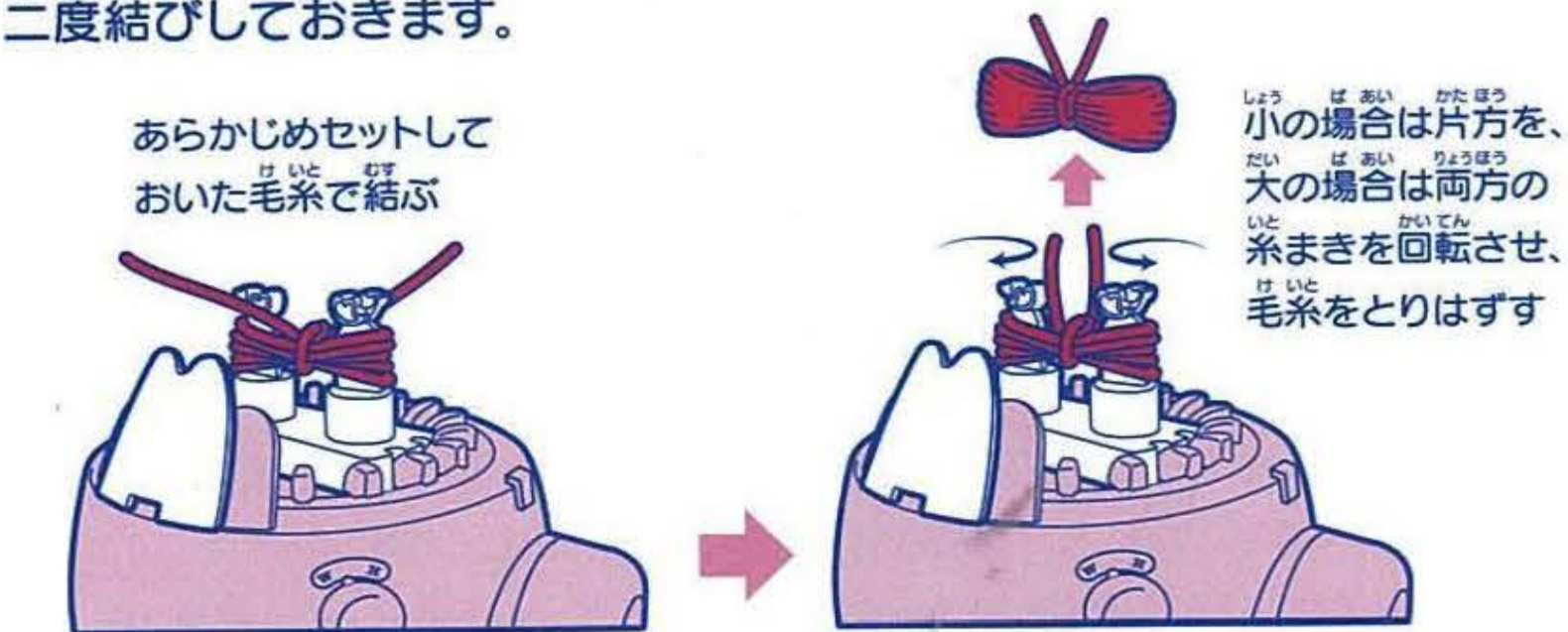
3 毛糸を巻き付けます

ハンドルをくるくるまわして、ポンポン糸巻に毛糸を巻き付けていきます。適量の毛糸を巻き付けるには、ハンドルを50~100回くらいまわします。



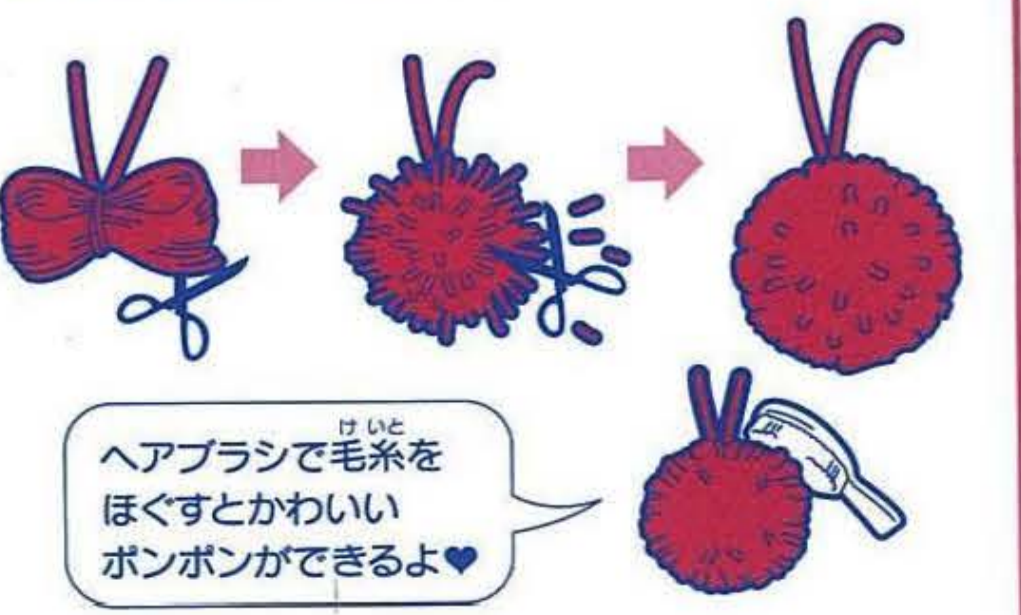
4 毛糸を結びます

2でセットしておいた毛糸で、巻き終わった毛糸のたばの中央を軽く結び、糸まきを回転させてとりはずします。とりはずしてから、かたく二度結びしておきます。



5 形を整えます

はさみで毛糸のたばの両はしを切りひらいて球にしたなら、つくりたい大きさに毛糸をはさみで整えてできあがり!



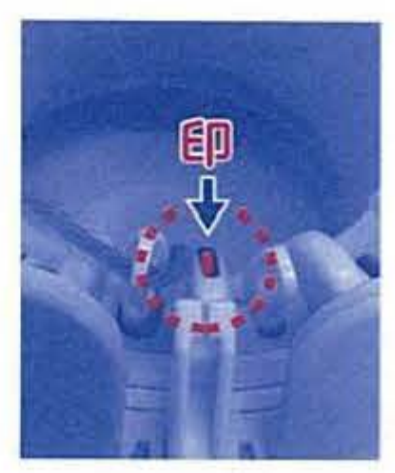
ヘアブラシで毛糸をほぐすとかわいいポンポンができるよ!

マイメロディのあみぐるみマスコットのつくり方

- 用意する物**
- ☆セット内... ●毛糸 (白・ピンク) ●フェルト (セット内のリボン・目・口・鼻) ●綿 ●毛糸針
 - ☆その他... ●ボンド ●はさみ

段数を数えやすくするために

油性ペンで印をつけます。
 かわいい説明は1ページ
 (油性ペンで印をつけよう)
 を読んでください。



後処理をしやすくするために

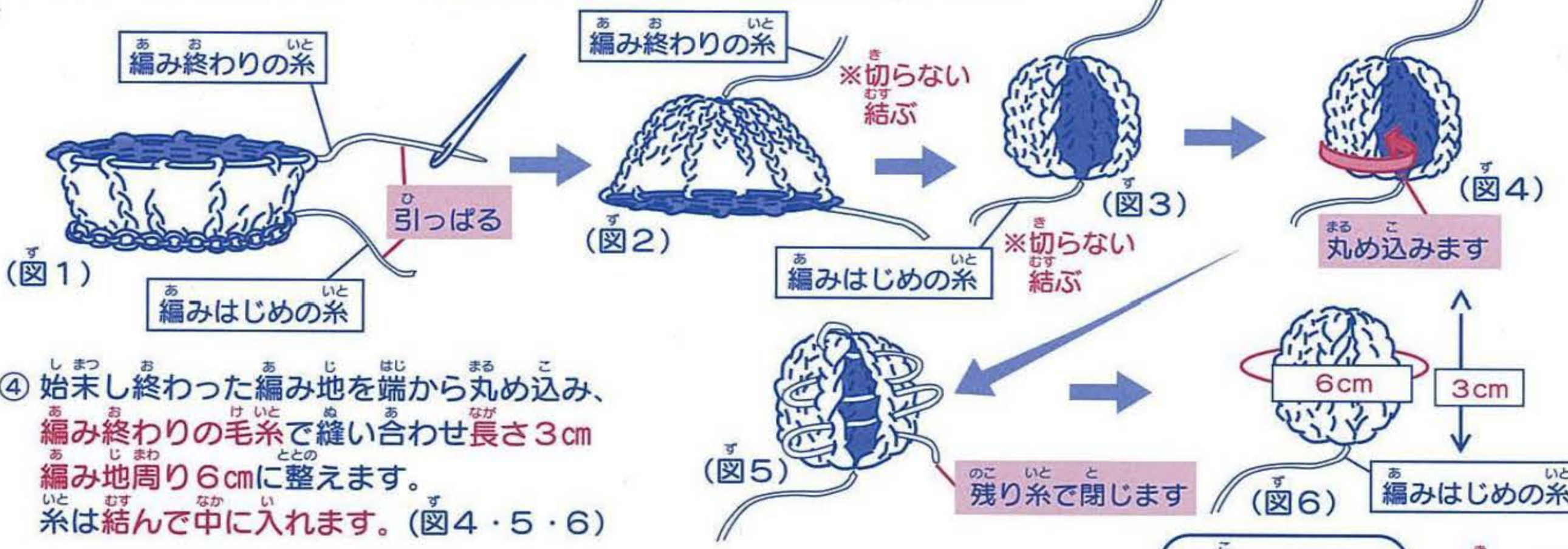
編み終わりの毛糸を輪に通しやすくするために、
 つくり方に書かれている段数は1段多くなっています。
 各パーツ毎に本体で編み終わったら編み終わりを1段ほどいてから、後処理をしてください。
 ※編み終わったら本体からはずして、1段ほどいてから約20cmのところをはさみで切ってください。
 ※編みはじめは約20cmを本体中央にたらしめてください。

※指定がない残り糸は結んで編み地の中に入れるか、縫い込みます。 ※セットした毛糸は段数に含まれません。

1 マイメロディのからだの各部分をつくります

足・手を2個ずつつくります (白の毛糸・毛糸針/輪あみ)

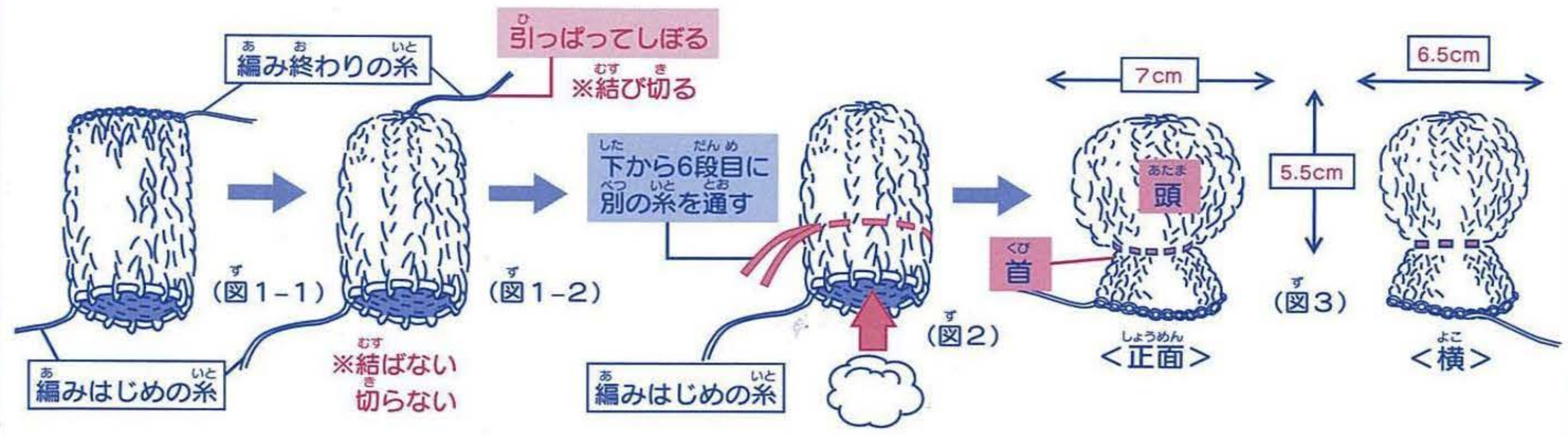
- ① ダイヤルを輪あみにして6段編みます。編み地を本体からはずして、1段ほどききます。
- ② 3ページの「輪あみの編み終わりのしまつの仕方 (しぼる場合①②③)」まで始末し、糸は切りません。(図1・2)
- ③ 編みはじめの残り糸も引っばってしぼります。糸は結んで残します。(図3)



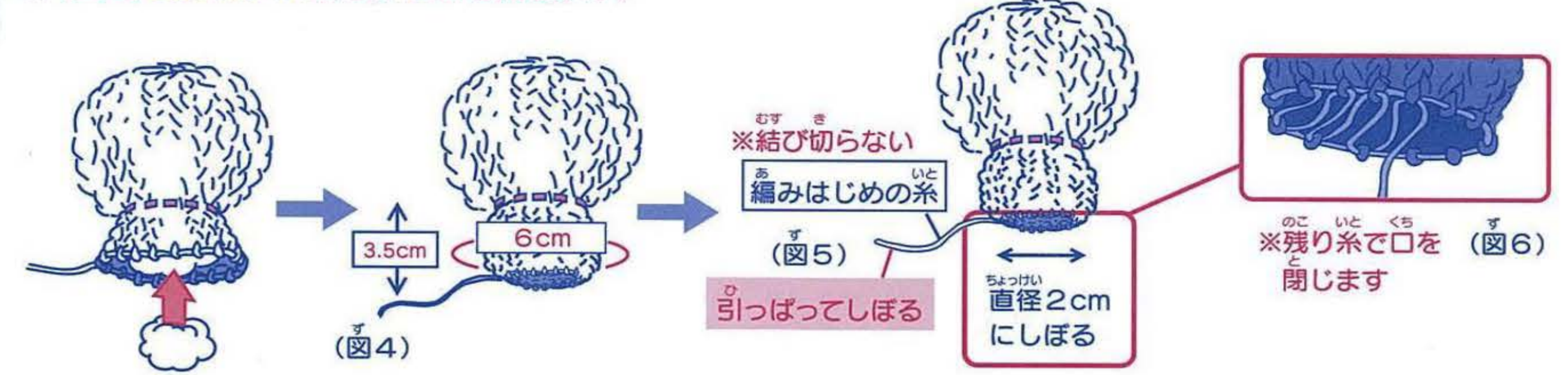
- ④ 始末し終わった編み地を端から丸め込み、編み終わりの毛糸で縫い合わせ長さ3cm編み地周り6cmに整えます。糸は結んで中に入れます。(図4・5・6)

頭と胴体(つながったもの)を1個つくります (白の毛糸・毛糸針/輪あみ)

- ① ダイヤルを輪あみにして23段編みます。
- ② 編み地を本体からはずして、1段ほどき3ページの「輪あみの編み終わりのしまつの仕方」で輪になっている編み目を1周通します。(図1-1)
- ③ 編み終わりの糸は3ページの「しぼる場合①~⑥」の方法でしまつします。頭のてっぺんになります。(図1-2)
- ④ 下から6段目の編み目に1周別の糸を通します。結ばず、頭に綿を詰めながらしぼります。(図2)
- ⑤ (図3)の大きさに整え、編み目に通した毛糸を引っばりしぼります。結んで残り糸は中に入れます。首と頭の部分の出来上がりです。

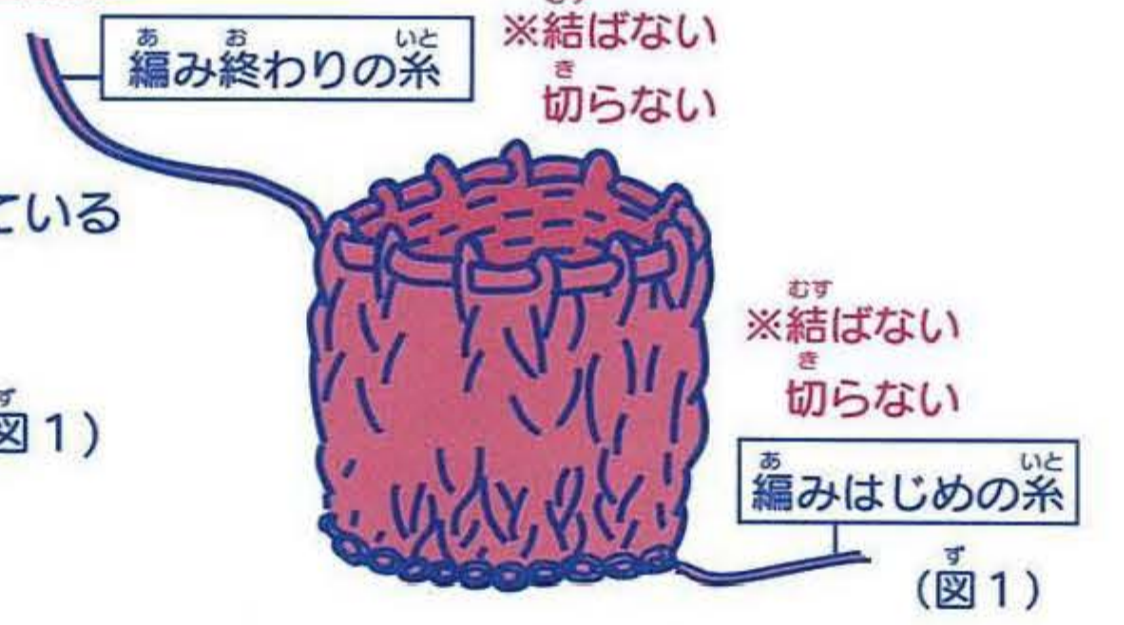


- ⑤ 次に胴体になる部分にも綿をつめます。(図4)の大きさに整えたら、残しておいた「編みはじめの毛糸」を引っ張って、口の直径が2cmになるようにしぼります。糸は結び、切らない。(図5)
- ⑥ (図6)を見ながら、残り糸で口を閉じます。



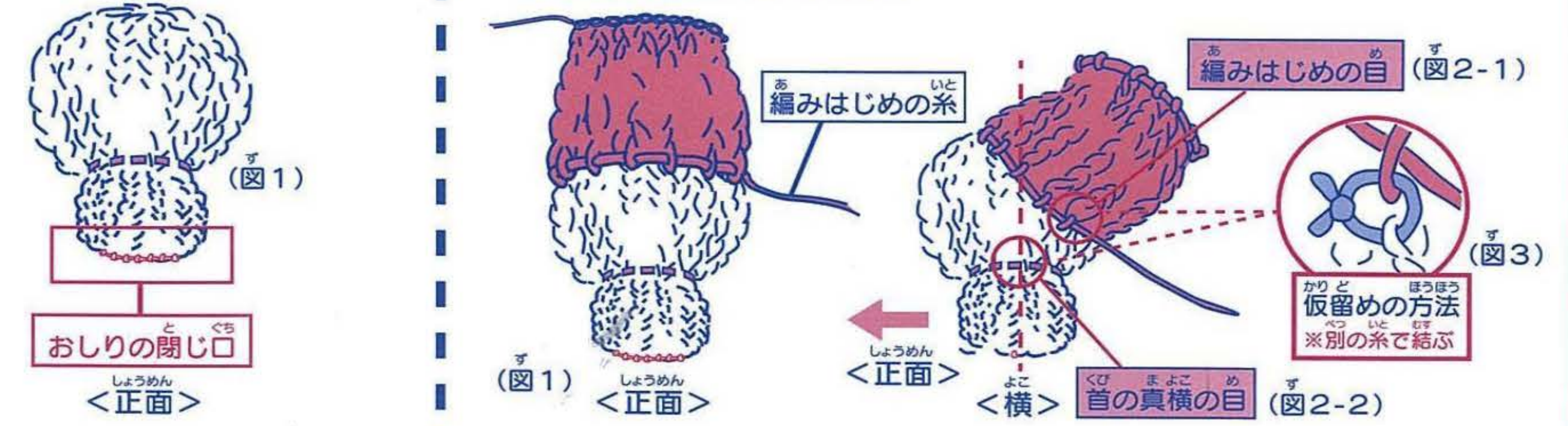
ぼうしを1個つくります (ピンクの毛糸・毛糸針/輪あみ)

- ① ダイヤルを輪あみにしてピンクの毛糸で17段編みます。
- ② 編み地を本体からはずして、1段ほどき3ページの「輪あみの編み終わりのしまつの仕方」で、残り糸を輪になっている編み目に1周通します。糸は結ばず残します。
- ③ 編みはじめ・編み終わりの糸を少しずつ引っばって、四角い編み地になるように整えます。糸は結ばず残します。(図1)

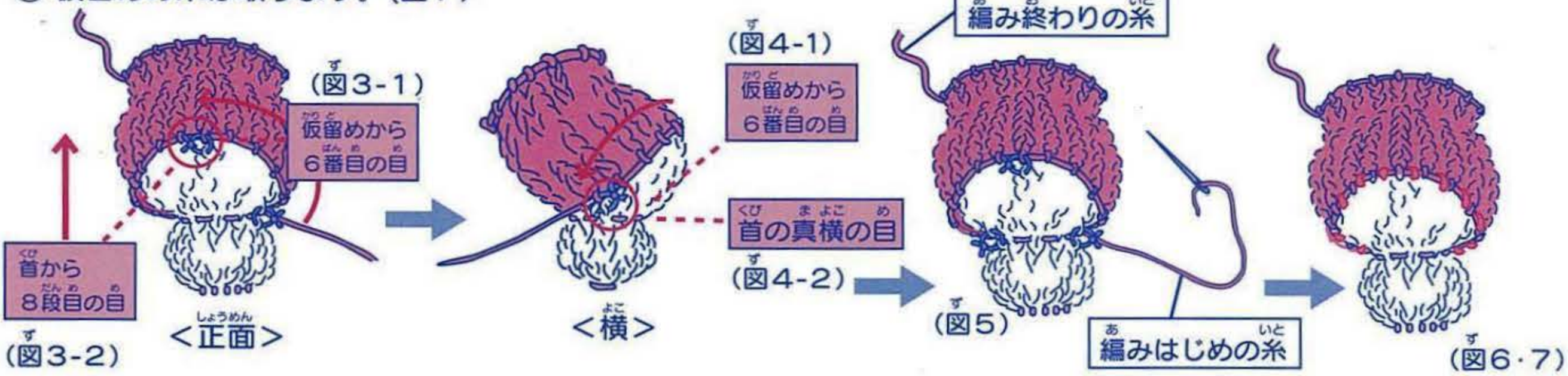


2 ぼうしを頭に縫い付けます

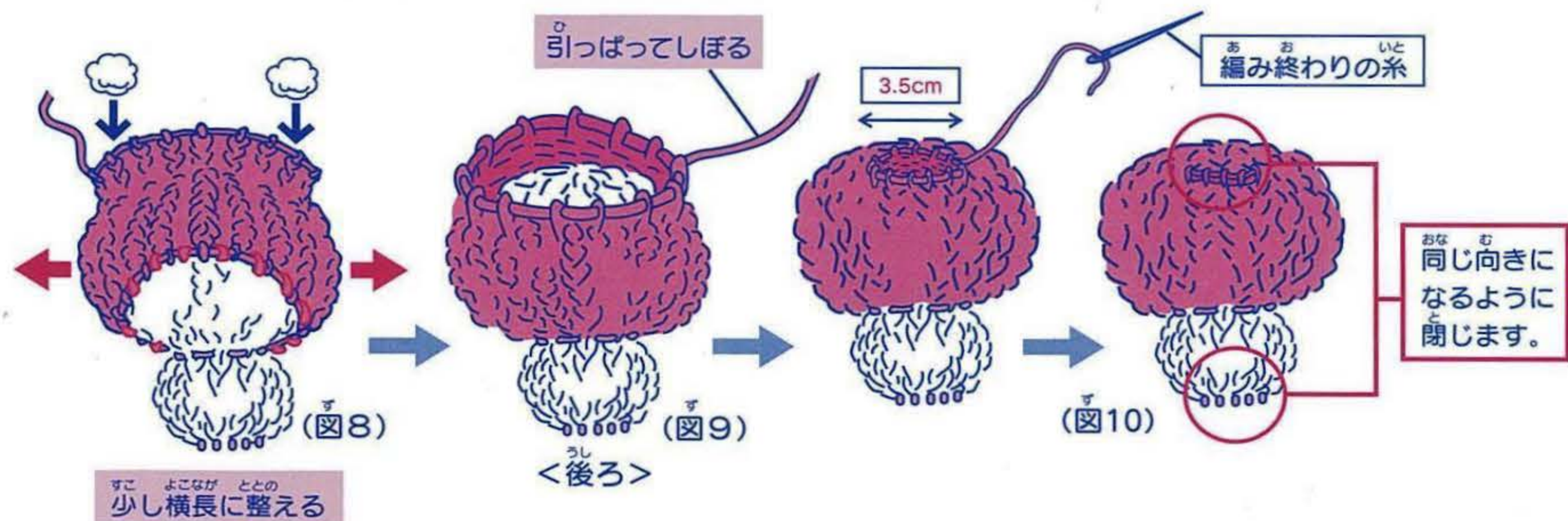
- ※ 胴体(おしり)の閉じ口が横一文字に見える向きを(正面)にします。(図1)
- ① ぼうしの「編みはじめの残り糸」が向かって右になるように、頭にかぶせます。(図1)
 - ② ぼうしの編みはじめの最初の目(図2-1)と首の目(図2-2)を仮留めます。「仮留めの方法」参照(図3)



- 仮留めたぼうしの目から中心方向へ6番目の目(図3-1)と正面の首から頭の方へ8段目の目(図3-2)を仮留めます。
- 中心の仮留めから向かって左へ6番目のぼうしの目(図4-1)と首の真横の目(図4-2)を仮留めます。
- あたまに仮留めたぼうしを編みはじめの残り糸を使って縫い付けます。(図5)
後ろは、首に沿ってぼうしの端を縫い付けます。縫い終わった糸は結び、残り糸は中へ入れます。(図6)
- 仮留めの糸は取ります。(図7)

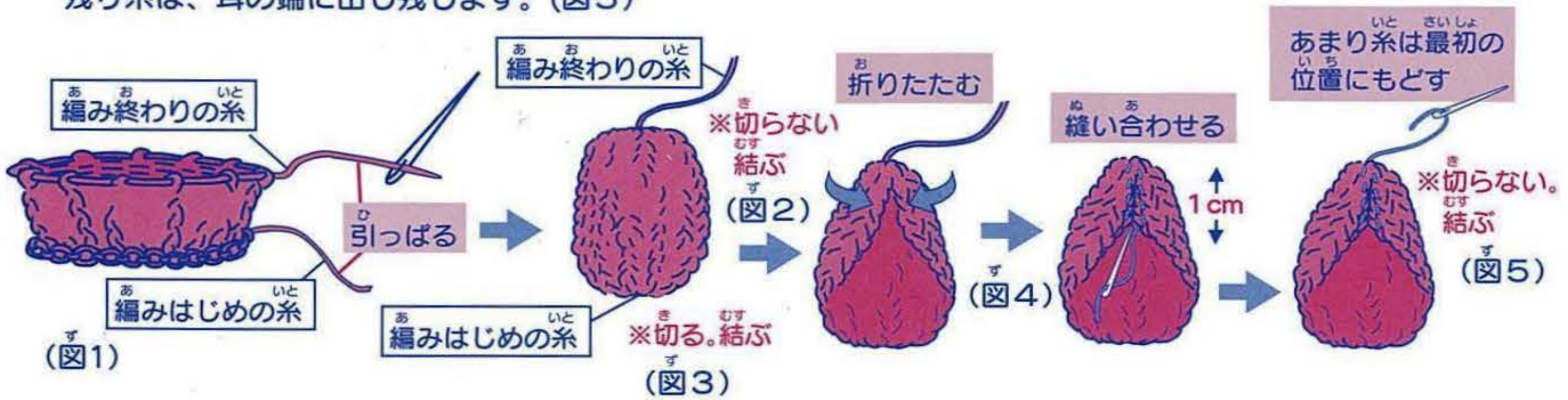


- ぼうしを頭に縫い付けたら、ぼうしの左右に綿をひとつまみ入れ、頭の形を少し横長に整えます。(図8)
- 頭の後ろのぼうしの口を直径3.5cmになるようしぼり(図9)編み終わりの残り糸で閉じます。
閉じる向きは、本体のおしりと同じにします。糸は結んで、中に入れます。(図10)



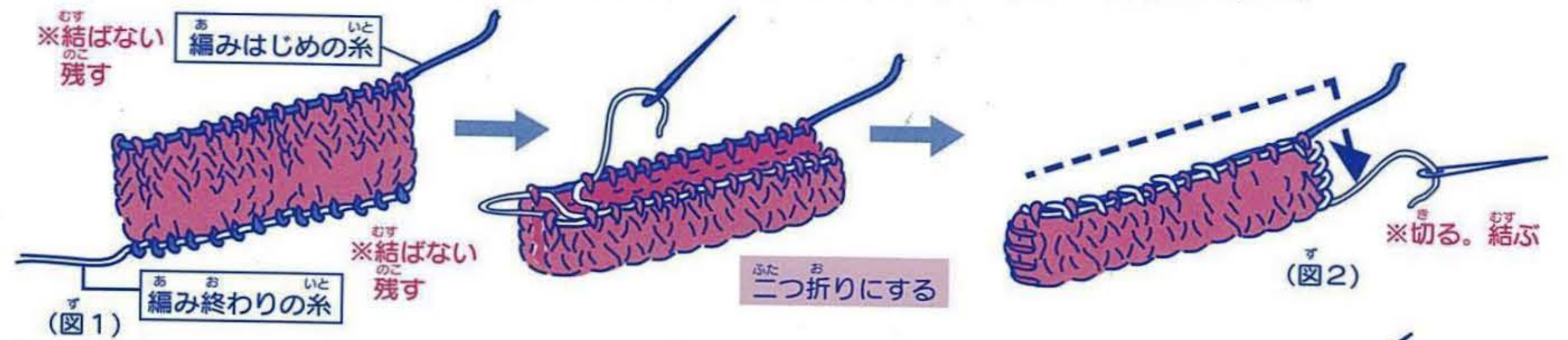
● 耳を2個つくります ● (ピンクの毛糸・毛糸針/輪あみ)

- ダイヤルを輪あみにしてピンクの毛糸で15段編みます。
- 編み地を本体からはずして、1段ほどき3ページの「輪あみの編み終わりのしまつの仕方」で、残り糸を輪になっている編み目に1周通します。(図1)残った糸は引っぱって穴をふさぎ、結びます。糸は切らずに残します。(図2)
- 編みはじめの、残り糸も引っ張って穴をふさぎ、結びます。糸は中へ入れます。(図3)
- 編み終わりの残り糸を使って、耳の端どうしを約1cm縫い合わせます。(図4)
残り糸は、耳の端に出し残します。(図5)



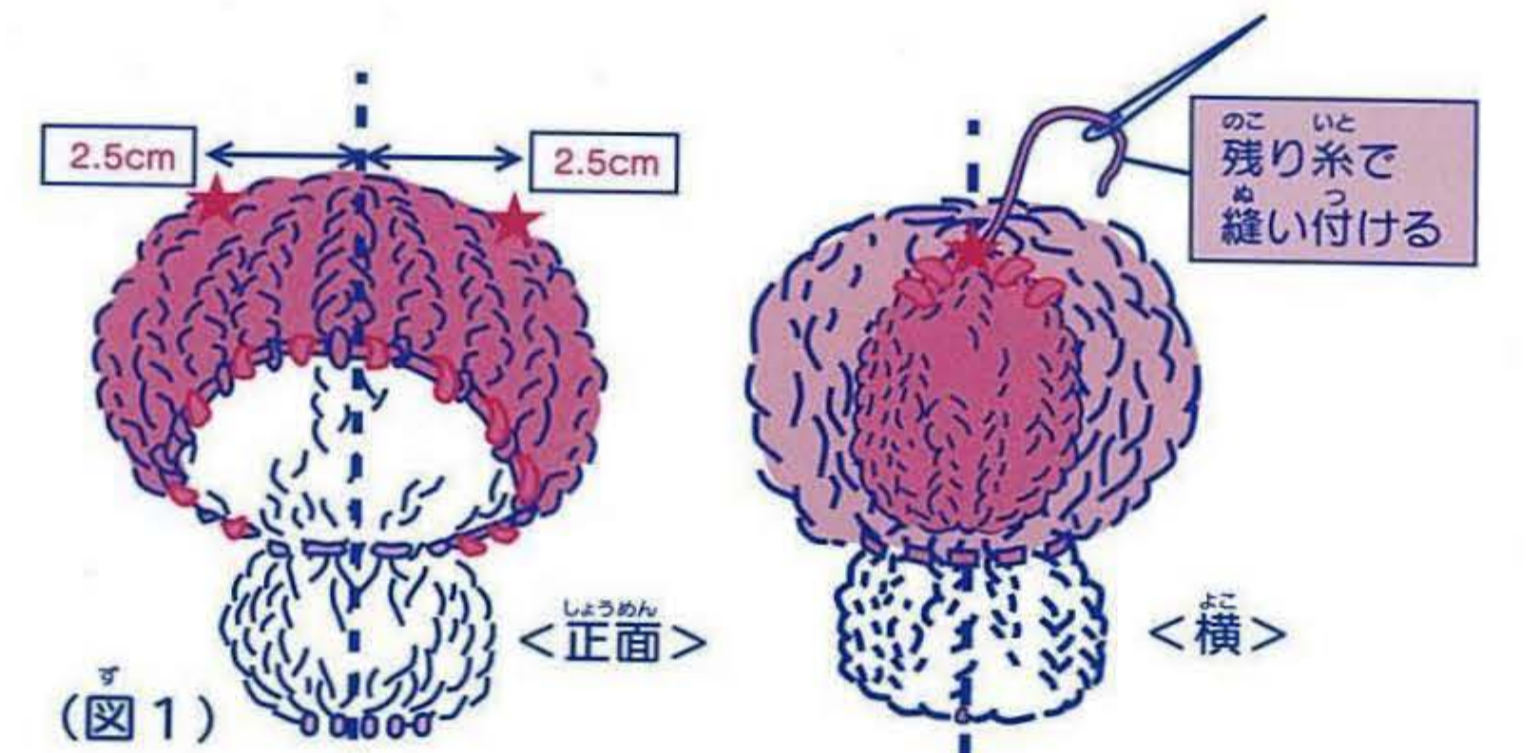
● えりをつくります ● (ピンクの毛糸・毛糸針/平あみ)

- ダイヤルを平編みにしてピンクの毛糸で8段編みます。
- 編み地を本体からはずして、1段ほどき5ページの「平あみの編み終わりのしまつの仕方」で、残り糸を輪になっている編み目に通します。糸は結ばず残します。
- 編み地が四角くなるように編みはじめと編み終わりの糸を少しずつ引っぱって形を整えます。残り糸は結ばず残します。(図1)
- 編み地を二つ折りにして編み終わりの残り糸を使って閉じます。糸は結び中へ入れる。(図2)



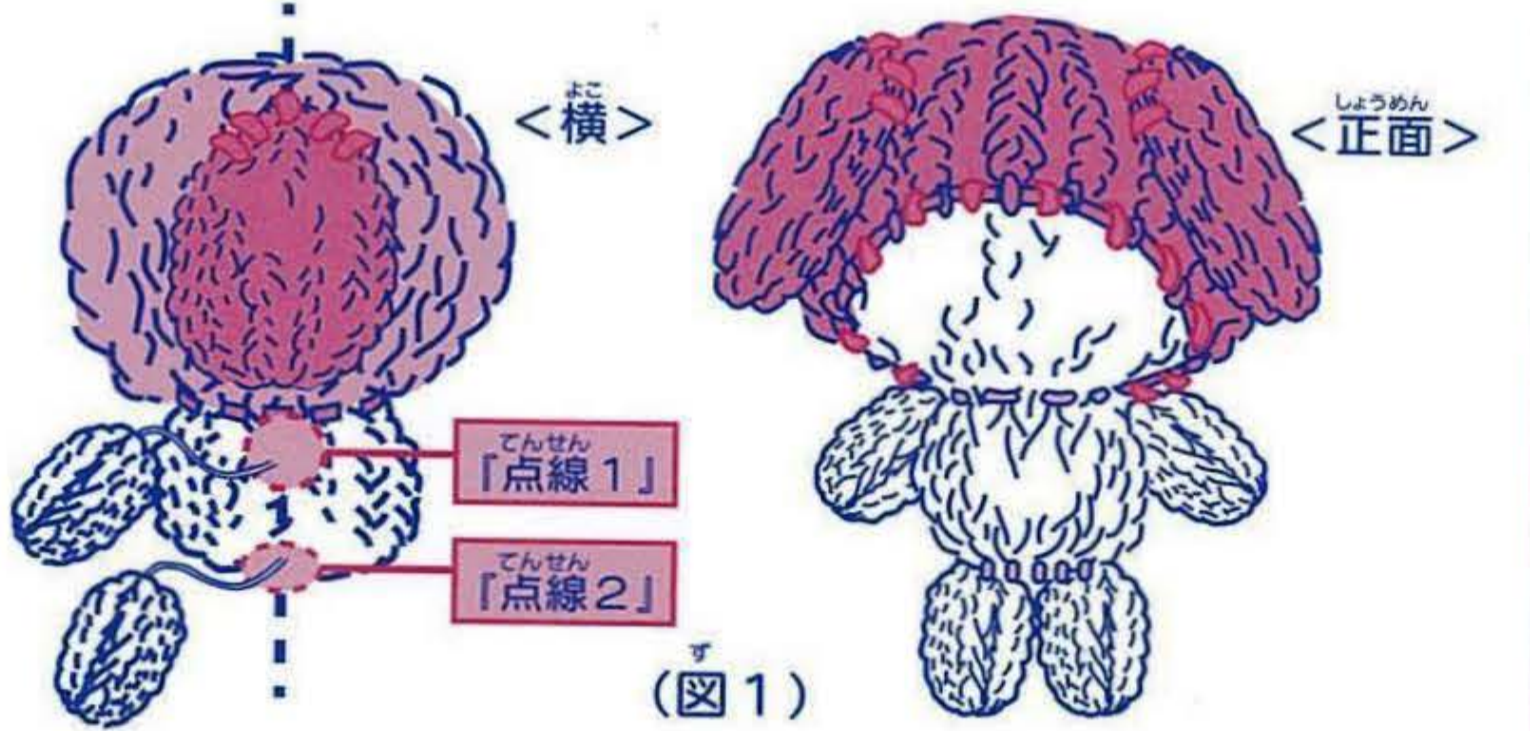
3 耳を頭に縫い付けます

- 折りたたんだ面を内側にして頭のとっぺんから左右2.5cmの位置に耳の端を合わせ、残り糸で頭に縫い付けます。(図1)



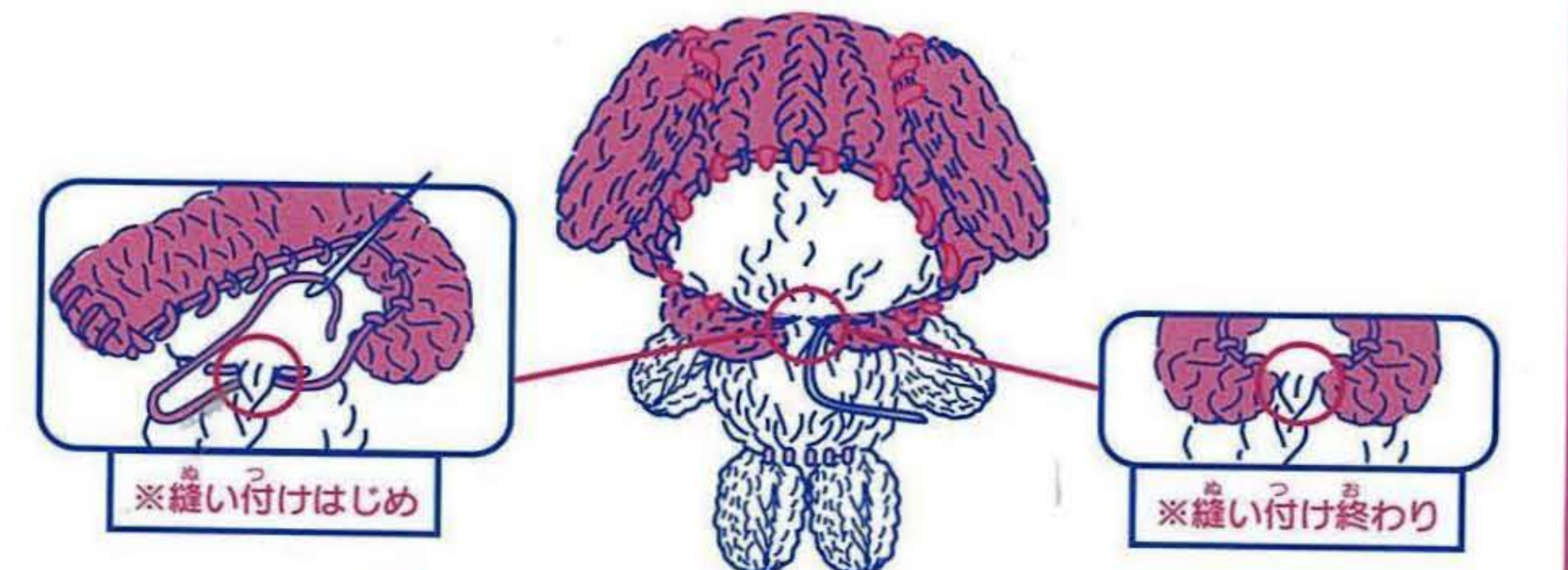
4 て・足を縫い付けます

- 「点線1」に手「点線2」に足を縫い付けます。(図1)



5 えりを縫い付けます

- えりは残り糸を使って、正面の1目を残し、首に沿って1周するように縫い付けます。



6 しっぽをつくり、縫い付けます(白の毛糸)

- ① 直径2.5cmのポンポンをつくります。(6ページ)
- ② ポンポンの結び糸をしておしりに取り付けます。



7 目・鼻・口・リボンを付けます

- ① 写真のマイメロディを参考に貼り付けます。

リボンの小物の作り方

用意する物

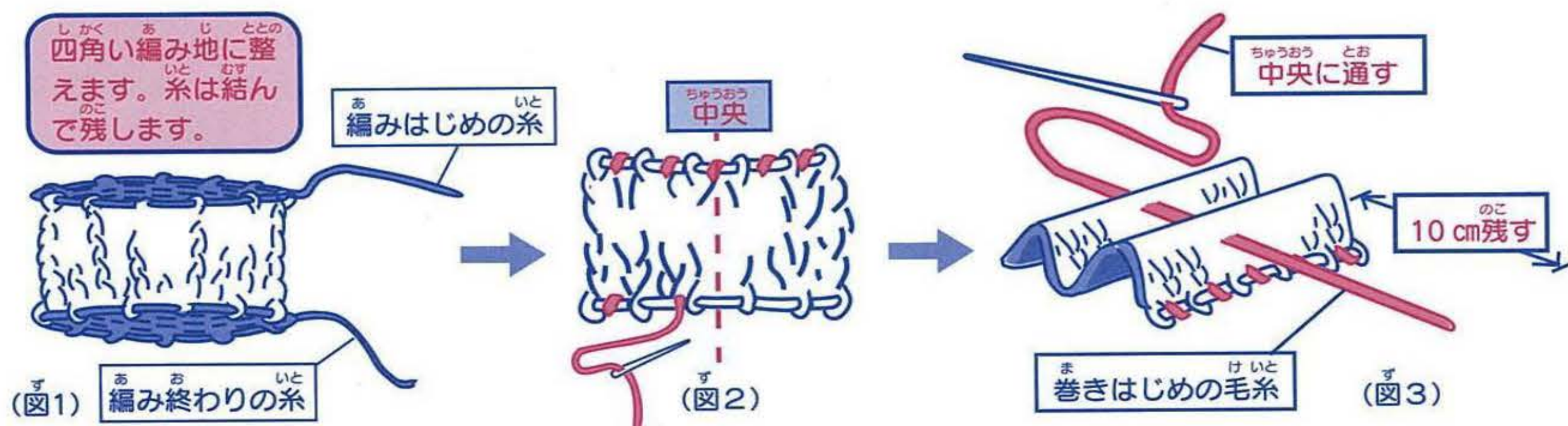
☆セット内…●毛糸針 ☆市販のもの…●毛糸(並太以下の太さ) ●ヘアピン・カラーゴムなど

※指定がない残り糸は結んで編み地の中に入れるか、縫い込みます。

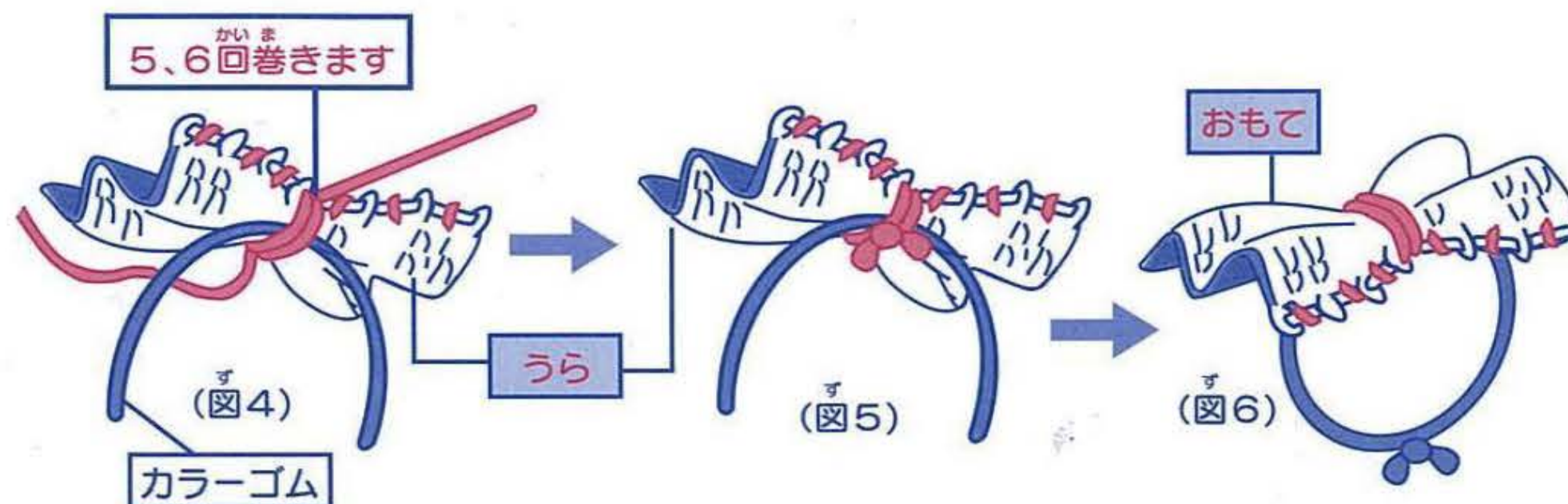
小さいリボンのヘアゴム・ヘアピン

●市販の毛糸※並太/(輪あみ)・カラーゴム20cm・ヘアピン

- ① ダイヤルを輪あみにして11段編みます。
- ② 編み地を本体からはずして、1段ほどき3ページの「輪あみの編み終わりのしまつの仕方」で、残り糸を輪になっている編み目に通します。
- ③ 編みはじめと編み終わりの糸を少しずつ引っぱって編み地が四角くなるように形を整えます。残り糸は結び残します。(図1)
- ④ 両方の口を残り糸で閉じます。糸は結んで中に入れます。(図2)
- ⑤ 縫い合わせた生地を(図3)のようにたたんで、中央に別の毛糸を通します。※通しはじめの毛糸は約10cm残します。

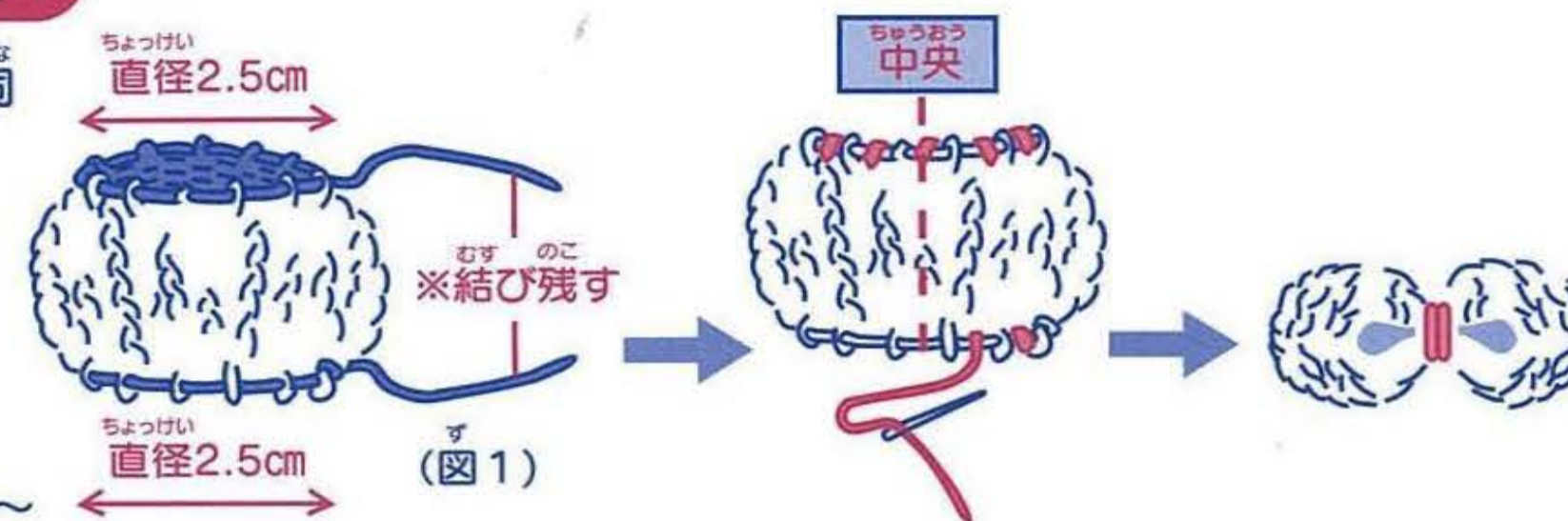


- ⑥ 通した毛糸でリボンとカラーゴムを一緒に5、6回しっかり巻きます。(図4)
- ⑦ 通しはじめに残した10cmの毛糸と巻き終わった毛糸をしっかり結び残り糸は中へ入れます。(図5)
- ⑧ カラーゴムを輪になるよう結んで出来上がりです。(図6)



角が丸い小さいリボン

- ① 小さいリボンの作り方の①②と同じです。
- ② 編み地の口の直径がそれぞれ2.5cmになるように編みはじめと編み終わりの糸を少しずつ引っぱり糸は結び残します。(図1)
- ③ 小さいリボンの作り方の④(図2)~⑧(図6)と同じです。



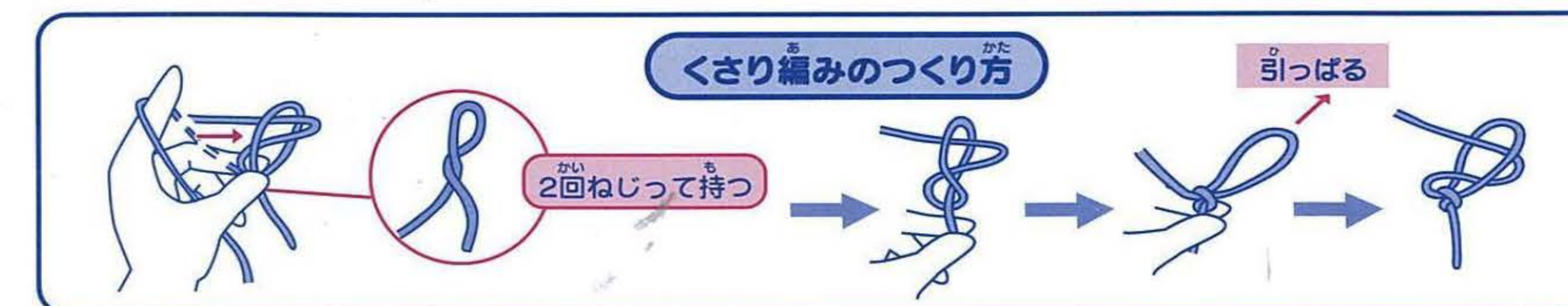
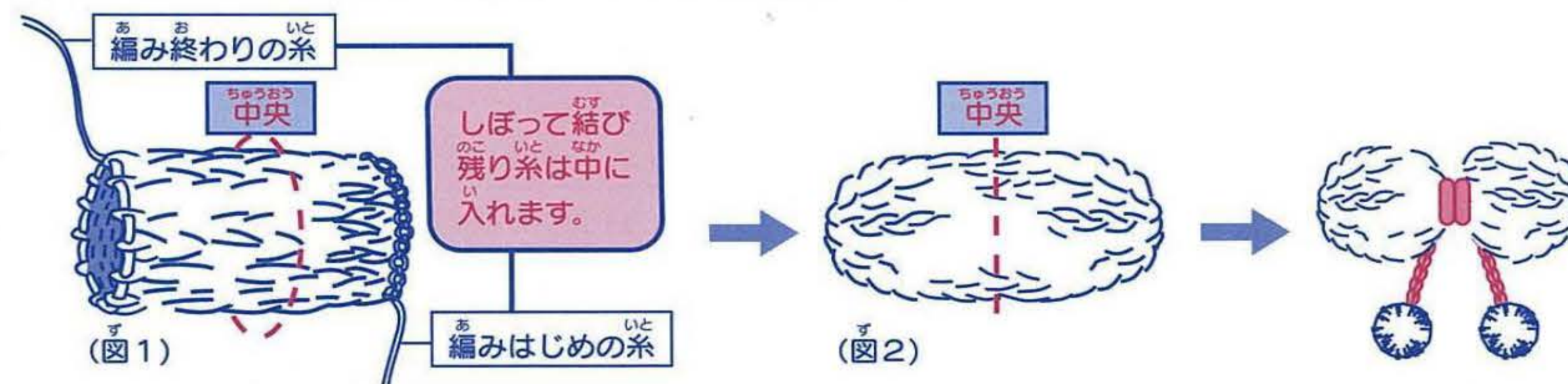
ヘアピンの作り方



角が丸い中リボン

●市販の毛糸※並太/(輪あみ)

- ① ダイヤルを輪あみにして21段編みます。
- ② 編み地を本体からはずし、1段ほどき3ページの「輪あみの編み終わりのしまつの仕方」で、残り糸を輪になっている編み目に通します。(図1)
- ③ 編みはじめ・編み終わりの口は残り糸を引っぱってしぼり、結んで、糸は中へ入れます。(3・4ページ参照)(図2)
- ④ 7cmのくさり編みの両端に約2cmのポンポン付きのひもをつくります。
※くさり編みの作り方参照 ※6ページのポンポンの作り方参照
- ⑤ 小さいリボンの作り方の⑤(図3)~⑦(図5)と同じです。
(カラーゴムの代わりにポンポン付きくさりを付けます。)

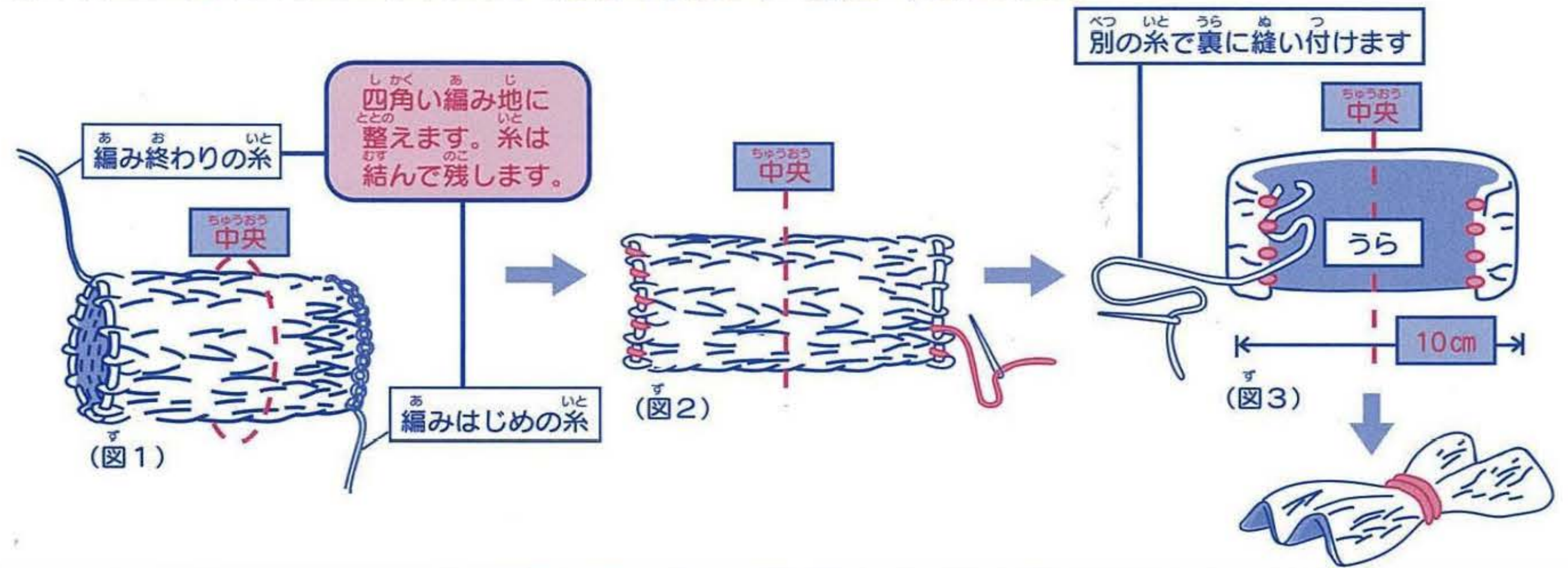


大きいリボン



●市販の毛糸※並太/(輪あみ)

- ダイヤルを輪あみにして37段編みます。
- 編み地を本体からはずして、1段ほどき3ページの「輪あみの編み終わりのしまつの仕方」で、残り糸を輪になっている編み目に通します。
- 編みはじめと編み終わりの糸を少しずつ引っぱって編み地が四角くなるように形を整えます。残り糸は結び残します。(図1)
- 両方の口を残り糸で閉じます。糸は結んで中に入れます。(図2)
- (図3)のように10cmになるように、編み地の両端を裏側へ1cmずつたたみ、別の糸で縫い付けます。縫い終わったら糸は結び編み地の中へ入れます。(図3)
- 中央のしぼり方は小さいリボンの作り方の②(図3)~⑦(図5)と同じです。



♡パステルカラーのバッグの作り方♡

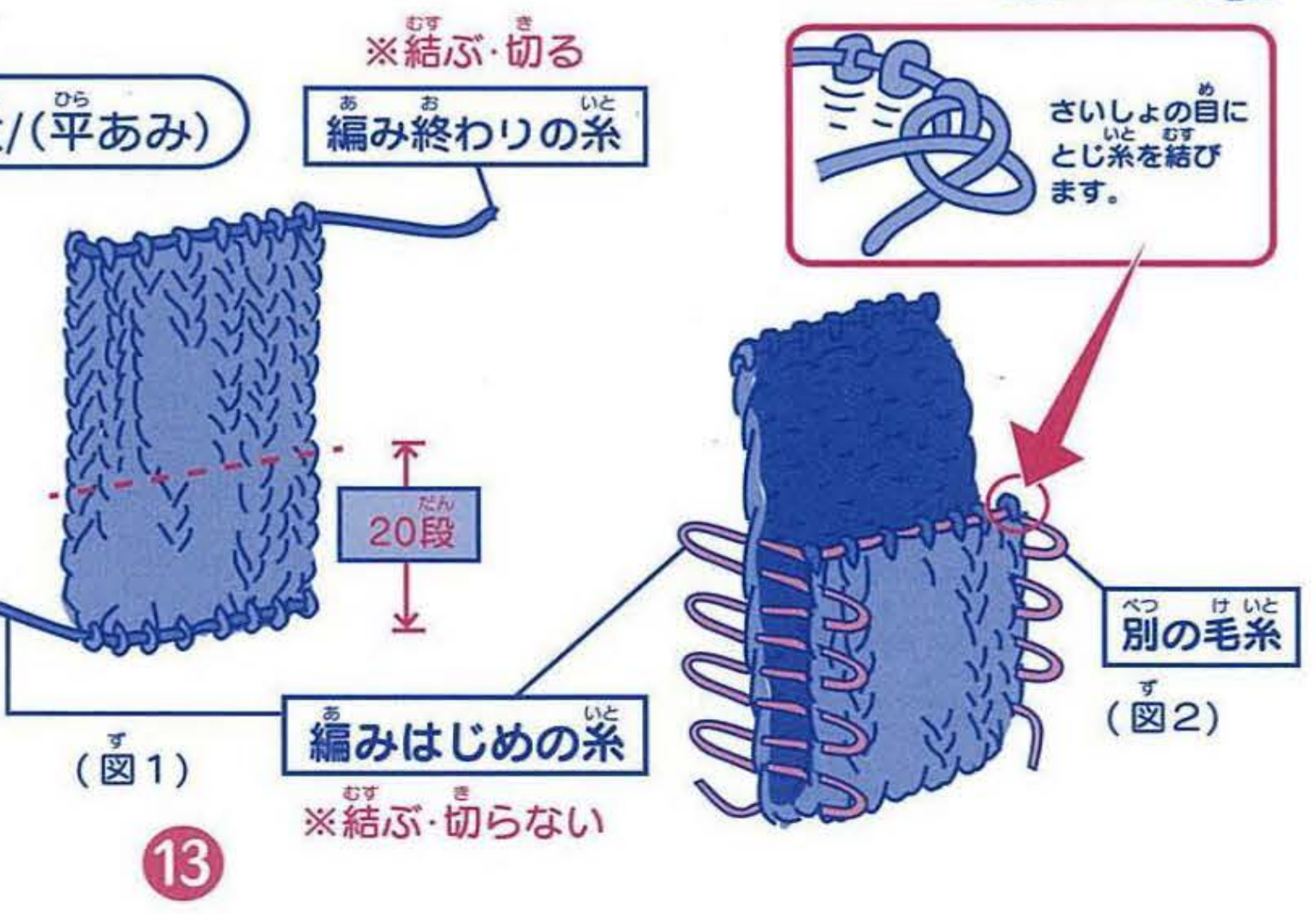
- 用意する物
☆セット内 ●毛糸針 ☆市販の物……●毛糸(並太以下の太さ) ●カラーゴムなど

※指定がない残り糸は結んで編み地の中に入れるか、縫い込みます。

ミニバッグ

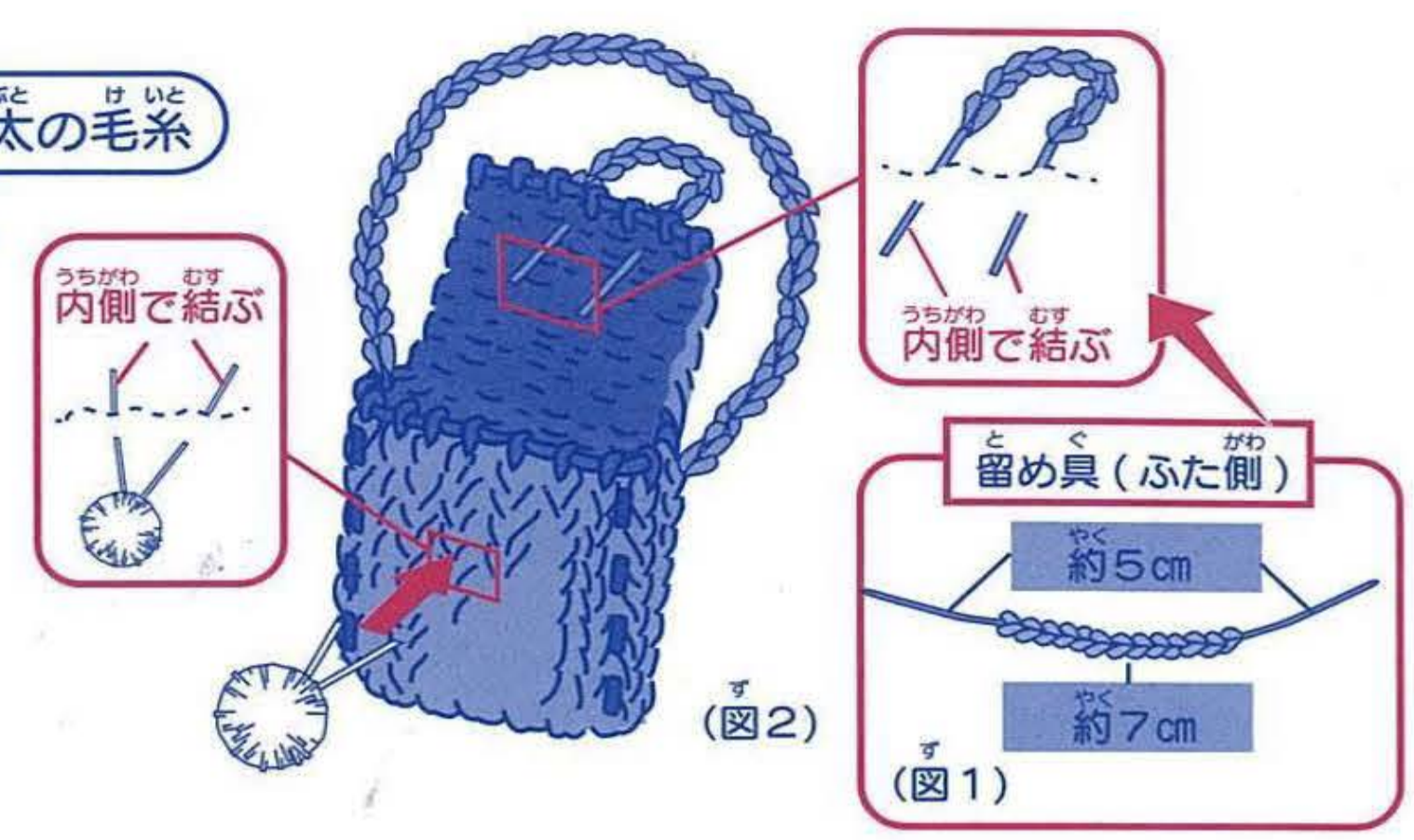
●ミニバッグ本体……●市販の毛糸※並太/(平あみ)

- ダイヤルを平あみにして53段編みます。
- 編み地を本体からはずして、1段ほどき5ページの「平あみの編み終わりのしまつの仕方」で、残り糸を輪になっている編み目に通します。
- 編みはじめと編み終わりの糸を少しずつ引っぱって編み地が四角くなるように形を整えます。(図1)
- 編みはじめ側の端から20段目で二つ折りにし、片側は残り毛糸で、もう片側は別の毛糸で縫い合わせます。(図2)



●ミニバッグ用くさりひも・留め具……●並太の毛糸

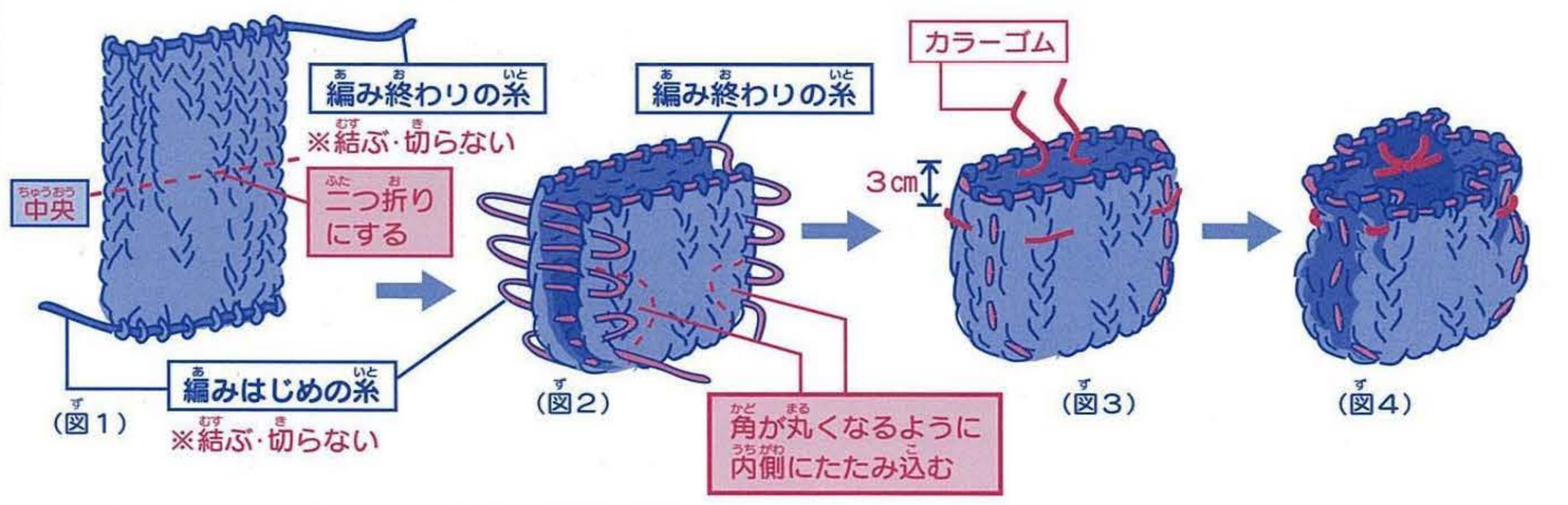
- 持ち手用くさり編みのひも30cmをつくります。 ※12ページのくさり編みの作り方を参照
- 留め具用に直径3cmのポンポンをつくります。
- 留め具用のくさり編みのひもをつくります。 <編まない毛糸部分5cm → くさりひも7cm → 編まない毛糸を約5cm> (図1)
- ①~③の部品をミニバッグ本体に取り付けます。(図2)



ふわふわバッグ

●ふわふわバッグ本体……●市販の毛糸(平あみ) ●カラーゴム

- ダイヤルを平あみにして40段編みます。
- ミニバッグの作り方②③と同じです。 ※編みはじめ・編み終わりの残り糸は結んで糸は残します。(図1)
- 中央で編み地を二つ折りにし、手さげの角が丸くなるように、角を内側へたたみながら左右それぞれ残り毛糸で、縫い合わせます。(図2)
- 編み地の口から3cmを1周するようにカラーゴム(25cm)を通します(図3)
- 1周通したカラーゴスを内側で結びます。(図4)



●持ち手……●市販の毛糸(平あみ) ●リボン……●並太(輪あみ)

- 持ち手用に平あみで6段編みます。
- ミニバッグの作り方②③と同じです。残り糸は生地に縫い込みます。(図1)
- リボン用に輪あみで11段編みます。(図2)
- ミニバッグの作り方②③と同じです。残り糸は生地に縫い込みます。四角に整えた生地を二つ折りにして、中央を別の糸でしっかり巻きます。(図3)
- 持ち手にリボンを縫い付けてから、本体の外側に縫い付けます。(図4)

